

# I 令和5年度事業報告

新宿区社会福祉協議会第4次経営計画2019～2023 施策と各事業

<b>施策1</b>	<b>支えあい活動に参加するきっかけづくり</b>	<b>5</b>
1	福祉教育・福祉体験学習の推進	5
2	いつでも体験ボランティア	5
3	介護支援等ボランティア・ポイント事業【区委託】	6
4	視覚・聴覚障害者支援事業【区委託】	7
<b>施策2</b>	<b>活動者の段階的な学びと活動継続への支援</b>	<b>8</b>
1	生活支援体制整備事業【区委託】	8
2	地域活動者実践講座	12
3	認知症サポーターステップアップ事業【区委託】	12
4	ふれあい・いきいきサロンの運営支援	13
5	成年後見センター事業【重点事業】	13
6	地域ささえあい活動助成金	14
<b>施策3</b>	<b>多様な生活課題を受け止める相談体制の充実と包括的な支援</b>	<b>17</b>
1	暮らしの総合相談事業【重点事業】	17
	(1)暮らしの総合相談	17
	(2)車椅子・地域行専用機材の貸出	18
2	自立相談支援・貸付事業【重点事業】	19
	(1)総合相談件数	19
	(2)自立相談支援事業【区委託】	20
	(3)生活福祉資金貸付事業【東社協委託】	20
	(4)受験生チャレンジ支援貸付事業【区委託】	21
	(5)ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業【東社協委託】	21
	(6)応急小口資金貸付事業	22
	(7)緊急援護事業	22
	(8)新型コロナウイルス感染症に係る生活福祉資金特例貸付【東社協委託】	22
3	成年後見センター事業【重点事業】	23
	(1)成年後見制度利用推進事業【区委託】	23
	(2)法人後見事業	25
	(3)地域福祉権利擁護事業【東社協委託】	27
4	避難者支援	28
<b>施策4</b>	<b>住民同士の支えあいによる心豊かな暮らしの実現</b>	<b>28</b>
1	ちょこっと・暮らしのサポート事業	29
2	地域見守り協力員事業【区委託】	30
3	ファミリーサポート事業【区委託】	32

<b>施策5</b>	<b>さまざまな団体との連携による地域ネットワークの発展</b>	<b>34</b>
1	地域団体との連携【重点事業】	34
	(1)社会福祉法人としての公益的な取り組みの推進	34
	(2)民生委員・児童委員協議会との連携	36
	(3)町会・自治会等地域団体との連携	36
	(4)出前講座の実施	37
	(5)NPO・新宿 CSR ネットワーク等との市民活動の支援	37
2	生活支援体制整備事業（再掲）【区委託】	38
<b>施策6</b>	<b>新宿社協の活動の理解促進のための広報・広聴機能の強化</b>	<b>38</b>
1	総合的な広報事業【重点事業】	38
	(1)ボランティア情報の発信	38
	(2)広報紙「けやき」等の発行	39
	(3)ホームページ、SNSの活用	40
	(4)創立70周年の取り組み	40
2	広聴事業【重点事業】	40
	(1)情報公開・個人情報保護審査会	40
	(2)第三者委員会の設置	40
<b>施策7</b>	<b>地域福祉推進のための財源基盤の拡充</b>	<b>40</b>
1	会費会員の拡充【重点事業】	40
2	共同募金の普及・啓発（募金文化の醸成）【重点事業】	41
	(1)東京都共同募金会新宿地区協力会理事会	41
	(2)赤い羽根共同募金運動	41
	(3)歳末・地域たすけあい運動募金	42
3	寄附の募集【重点事業】	42
4	収益事業（自販機の設置等）【重点事業】	43
<b>施策8</b>	<b>新宿社協の組織運営と組織基盤の整備</b>	<b>43</b>
1	新宿社協の組織運営	43
	(1)理事会・評議員会・推進部会の運営	43
	(2)社協部会の運営	45
2	職員の育成	46
3	IT推進・情報管理	46
4	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策	47
<b>施策9</b>	<b>災害対策の推進</b>	<b>47</b>
1	災害時危機管理対策	47
2	災害ボランティアセンターの運営支援等	47

# 1 支えあい活動に参加するきっかけづくり

## 1 福祉教育・福祉体験学習の推進

### (1) 学校・団体への支援

種 別	対 象	内 容	延参加者数			
			令和5年度		令和4年度	
福祉教育の支援	幼稚園・子ども園 小学校・中学校 高等学校	各学校が行う福祉体験学習等への企画協力や講師紹介を行う。 地域の障害者や高齢者等との交流を通して、地域の身近な課題や生活者の多様性を感じ、考える機会を支援する。	東地区	1,223 人	東地区	608 人
			中央地区	343 人	中央地区	570 人
			西地区	410 人	西地区	433 人
			計	1,976 人	計	1,611 人
授業協力	大学 専門学校	との交流を通して、地域の身近な課題や生活者の多様性を感じ、考える機会を支援する。	東地区	0 人	東地区	0 人
			中央地区	0 人	中央地区	46 人
			西地区	100 人	西地区	80 人
			計	100 人	計	126 人
企業等への支援	企業 地域団体	企業・団体が開催する、福祉やボランティア、多様性理解等の学びの場への協力	東地区	0 人	東地区	0 人
			中央地区	0 人	中央地区	20 人
			西地区	19 人	西地区	0 人
			計	19 人	計	20 人
職場体験学習受入	中学校	区立中学校が実施する「職場体験学習」における、生徒の受け入れを協力	東地区	1校 2人	東地区	1校 2人
			中央地区	1校 2人	中央地区	1校 2人
			西地区	0校 0人	西地区	0校 0人
			計	4 人	計	4 人

### (2) 情報交換会

福祉教育の協力者・団体と教育委員会・教諭を対象に行った。

開催日時	場 所	内 容	参加者数
12月1日 15時～16時30分	新宿区立 教育センター	①講義「障害者理解教育について」 講師：教育委員会教育指導課 鹿島 正史氏 ②協力者と教諭による体験学習発表 ジャパンベストレスキューシステム(株) 木暮 雅寿氏 新宿区立四谷小学校 菊池 友也氏	34人

## 2 いつでも体験ボランティア

(1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら、ボランティア活動を身近に感じ、誰でも気軽に参加できるよう、ボランティア活動を企画、実施した。

内 容	延参加者数	
	令和5年度	令和4年度
施設・団体等での体験ボランティア	24 人	21 人
敬老の日おたよりボランティア	133 人	55 人

## (2) 講座

日付	講座名	内 容	参加者数
7月26日	視覚障害がある人と交流しよう！ 「点字に触れてみよう」 聴覚障害がある人と交流しよう！ 「サイレントゲーム」	・視覚障害について講話、点字器の説明、点字を打つ体験 ・聴覚障害について講話、口話の読み取り、聴覚障害のクイズ ※視覚・聴覚障害者支援事業と合同で開催	28人
8月9日	ボランティア入門講座	・オンライン参加している施設から施設紹介 ・オンライン上でボランティアが一芸披露 ※介護支援等ボランティア・ポイント事業と合同で開催	8人
1月30日	みんな違ってみんないい！ 思いやりのあるコミュニケーションを学ぼう	新宿区手をつなぐ親の会 キャラバン隊 「Winds」による疑似体験（「動画による再現」、「シングルフォーカス」、「軍手着用によるシール貼り体験」、「言葉を聞いて絵で描こう体験」）、グループワーク	18人

## 3 介護支援等ボランティア・ポイント事業(区委託事業)

## (1) 登録者数

	令和5年度	令和4年度
参加登録者数	1,411人	1,285人
(うち重複者数)	( 446人 )	( 384人 )
内訳:施設での活動者	498人	468人
地域見守り協力員	445人	397人
ちょこっと・暮らしのサポート事業協力員	359人	312人
家族会の活動者	29人	30人
認知症介護者家族会の活動者	26人	26人
地域安心カフェの活動者	52人	52人
チームオレンジの活動者	2人	—

## (2) 施設でのボランティア活動

	令和5年度	令和4年度
参加登録講習会の開催	3回	4回
研修・交流会の開催	1回	1回
受入施設数	79カ所	76カ所
受入施設での実活動者 ※	706人	350人

※1年間の実活動者延べ人数

## (3) 施設・団体ボランティア受入学習会

開催日時	場 所	内 容	参加者数
6月30日 14時～ 15時30分	社会福祉協 議会	施設・団体ボランティア受入学習会(入門編) ①ボランティアコーディネートの基本について 社協職員 ②施設職員のボランティア受入に対する理解を深めるために、施設が実施していることや受入に対しての心構え、活動できる環境づくりについて 講師:社会福祉法人サン 二瓶 裕二氏 ③交流会・情報交換会	14人
11月10日 14時～16時	牛込笹笥地 域センター	ボランティア活動でも活用できるレクリエーションを学ぼう！ ・ボランティア活動で活かせるレクリエーションについて ・施設職員とボランティアとの交流会・情報共有 講師:公益財団法人 日本レクリエーション協会 津幡 佳代子氏 【施設・団体向け受入連絡会】 施設職員同士の交流・情報交換、現在の受入状況など	施設職員 5人 活動者 16人

## (4) 施設・団体ボランティアコーディネート事業

## ①登録数

	令和5年度	令和4年度
利用団体数	198 団体	194 団体
活動団体数	108 団体	101 団体
活動者数	1,422 人	1,286 人
延活動回数	2,975 回	1,846 回

## (5) 講座

日付	講座名	内 容	参加者数
8月9日	ボランティア入門講座	オンライン参加している施設から施設紹介 オンライン上でボランティアが一芸披露 ※いつでも体験ボランティアと合同で開催	8 人

## 4 視覚・聴覚障害者支援事業(区委託事業)

## (1)利用者数

	令和5年度	令和4年度
視覚障害者交流コーナー	延 2,617 人	延 2,072 人
聴覚障害者交流コーナー	延 1,090 人	延 654 人

## (2)サービス利用件数

	令和5年度	令和4年度
代読・代筆サービス	延 23 件	延 28 件

## (3)講座の開催支援

開催日時	講座名	内 容	参加者数
7月26日 13時～ 14時45分	(1)視覚障害がある人と交流しよう！ 「点字に触れてみよう」 講師：公益社団法人東京都盲人福祉協会 就労継続支援B型事業所 パイオニア  (2)聴覚障害がある人と交流しよう！ 「サイレントゲーム」 講師：新宿区聴覚障害者協会 新宿区手話サークル	視覚障害について講話、 点字器の説明、点字を打つ 体験  聴覚障害について講話、口話 の読み取り、聴覚障害のクイズ  ※いつでも体験ボランティアと 合同で開催	28 人

講座名	回数等	内 容	参加者数
「入門手話教室」 (新宿区聴覚障害者協会主催)	全15回 (8/27～3/18) ※連続講座	聞こえない人と関わりながら学ぶ、 初心者向けの手話講座	18 人 ※修了者数
デジタルサポート講座 「スマホ・タブレット・カフェ」	第2土曜日 14時～16時 ※各回予約制による 単発実施	視覚・聴覚障害者を対象とした iPhone・iPadの使用方法を学ぶ 講座	16 人 ※延べ参加 者数
デジタルサポート講座 「はじめてのスマホ講座」	【視覚障害者対象】 1月27日 10時30分～12時	視覚障害者・聴覚障害者の方を対象とした、これからスマートフォンを持ちたい方、持ったばかりの方を支援するデジタルサポート講座 講師：株式会社 ラネット	5 人
	【聴覚障害者対象】 2月10日 10時30分～12時		6 人
視覚障害者・聴覚障害者合同講座「認知症サポーター養成講座」	3月2日 14時～16時	誰でもなりうる認知症について、正しく理解し、認知症に関する基本的な知識を得ることを目的とした「認知症サポーター養成講座」	23 人

## 2 活動者の段階的な学びと活動継続への支援

### 1 生活支援体制整備事業（区委託事業）

生活支援コーディネーターを配置し、住民主体の訪問型・通所型サービス創出、生活支援の担い手養成、高齢者等が担い手として活動する場の推進等、地域全体で高齢者を支えるためのしくみづくりを行う。

#### (1) 生活支援体制整備協議会の運営

定期的な情報の共有・連携強化を目的とし、多様なサービス提供主体等が参画する協議会について、区と連携し、運営した。

開催日時	行事名	内 容	出席委員
7月6日 10時～12時	第1回 生活支援体制 整備協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員交代について</li> <li>・令和5年度の事業スケジュールについて (第1層生活支援コーディネーター報告)</li> <li>・高齢者総合相談センターが考える「地域課題」とその解決に向けた「取組」について (第2層生活支援コーディネーター報告)</li> <li>・協議・意見交換</li> <li>(1) 地域の団体・地縁組織・企業等と生活支援コーディネーターとの関係づくり</li> <li>(2) 地域で生活する高齢者について、委員のそれぞれの立場から気になっていること</li> </ul>	16人
2月8日 13時～15時	第2回 生活支援体制 整備協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普及啓発リーフレットについて</li> <li>・講座・イベント実施報告</li> <li>・地域支え合いのための空きスペース有効活用促進事業について</li> <li>・協議・意見交換</li> <li>各地区第2層生活支援コーディネーターが考える「地域課題」に対する今年度の「取組」の「成果」と「課題」、今後の「取組の方向性」について</li> </ul>	13人

#### (2) 調整部会との連携

地域課題の整理や生活支援体制整備協議会に向けた議題の整理を行うための調整部会（高齢者総合相談センター主催）に参加し連携した。

開催日時	行事名(圏域)	内 容
6月21日 10時～12時	調整部会 (全地区合同実施)	「地域課題」について ①各高齢者総合相談センターの考える「地域課題」と「今年度の取組」について ②調整部会構成員での意見交換
12月18日 15時30分～17時	調整部会 事前打合せ	区及び取りまとめ高齢者総合相談センター職員とともに、調整部会の内容確認及び議事進行に関する調整を行った。
1月10日 15時～17時	東圏域調整部会	「地域課題」に対する「取組」の「成果」と「課題」、今後の「取組の方向性」について 共有、意見交換
1月11日 15時～17時	中央圏域調整部会	
1月12日 14時～16時	西圏域調整部会	

(3) 普及啓発講座・情報交換会

【普及啓発講座】

①普及啓発講座

開催日時	場 所	内 容	参加者
7月24日 10時30分～ 12時30分	戸塚地域センター	「こまった時はお互いさま 助けあい体験ゲーム」 講師：公益財団法人さわやか福祉財団 共生社会推進リーダー 長瀬 純治氏	14 人
10月11日 13時30分～ 15時30分	戸塚地域センター	「しんじゅくの通いの場 知って！出かけて！元気 になろう！ 活動紹介団体： ・お福分けの会(通所型住民主体サービスB) ・ぬくもりサロン(ふれあい・いきいきサロン) ・南元町すみれ会(高齢者クラブ) ・それいゆ(しんじゅく100トレグループ) ※ふれあい・いきいきサロンの運営支援と合同で 開催	23 人

②普及啓発イベント

開催日時	場 所	内 容	参加者
12月2日 12時～15時30分	桜美林大学 新宿キャン パス	「体験！しんじゅく ささえあい ～来て、見て、遊んで、つながろう～」 内容： (1)クリアソン新宿トークセッション 「つながりって？支え合いって？」 登壇者：大崎 淳矢選手、岩館 直選手 (2)ボディケアプログラム(クリアソン新宿、早稲田大学) …ストレッチ体操とサッカーボウリング体験 (3)つながりブース…地域住民による活動紹介 出展団体：ふれあい・いきいきサロン筆筒未来倶楽部、住 民主体型通所サービス戸山未来・あうねっと、リプリント・ 新宿えーる、高齢者クラブ連合会女性部・囲碁将棋部、 新宿区シルバー人材センター、トーテックアメニティ株式 会社、新宿いきいき体操サポーター、しんじゅく100トレ グループ	445 人

③社協他事業講座内での普及啓発

開催日時	場 所	内 容	参加者
11月27日 14時50分～ 15時20分	社会福祉 協議会	認知症サポーターステップアップ研修(基礎編) ・地域包括ケアシステムについて ・地域全体で高齢者を支えるとは ・今後、自分にできること	14 人

【情報交換会】

①情報交換会

開催日時	場 所	内 容	参加者
1月17日 13時30分～ 15時30分	戸塚地域セン ター	「『地域共生社会を目指して』地域住民と専門職が 知り合う情報交換会」 第2層生活支援コーディネーターから提供された事例 をテーマに、住民と専門職が意見交換を行った。	22 人

②生活支援コーディネーター連絡会

回	開催日時	会場	内容	参加者
1	4月27日 10時～12時	新宿区役所 6階 第三委員会室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の予定について</li> <li>・今年度講座等の予定について</li> <li>・意見交換、情報交換(令和5年度作業シートについて)</li> <li>(1) 共通課題について</li> <li>(2) 各高齢者総合相談センターの取組に関わる質疑応答</li> </ul>	26人
2	5月18日 13時30分～15時30分	社会福祉協議会	<p>【学習会】</p> <p>講師: 全国社会福祉協議会 中央福祉学院 教授 山下 興一郎氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 講義「生活支援体制整備事業について」</li> <li>(2) 今年度の取組みに関わる意見交換</li> </ul>	26人
3	6月21日 11時～12時	新宿区立 教育センター 5階 中研修室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行普及啓発パッケージの利用状況の確認</li> <li>・普及啓発の想定シーンの共有</li> <li>・新しい普及啓発パッケージの検討(使用方法、内容の方向性等)</li> </ul>	25人
4	7月27日 10時～12時	社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい普及啓発パッケージの検討</li> </ul>	24人
5	8月23日 13時30分～15時30分	社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい普及啓発パッケージ(普及啓発リーフレット)の検討</li> </ul>	25人
6	9月14日 10時～12時	社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい普及啓発パッケージ(普及啓発リーフレット)の検討</li> <li>・地域支え合い普及啓発イベントについて</li> </ul>	24人
7	10月18日 10時～12時	戸塚地域センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい普及啓発パッケージ(普及啓発リーフレット)の検討</li> <li>・地域支え合い普及啓発イベント つながりブースについて</li> </ul>	28人
8	11月15日 10時～12時	社会福祉協議会	<p>情報交換会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい普及啓発パッケージ(普及啓発リーフレット)について</li> <li>・地域支え合い普及啓発イベント つながりブースについて</li> <li>・生活支援コーディネーター活動について(近況報告・共有)</li> </ul>	24人
9	2月26日 10時～12時	社会福祉協議会	<p>今年度の取組の「成果」と「課題」、今後の「取組の方向性」について、各地区報告・共有、講師を中心とした意見交換</p> <p>講師: 全国社会福祉協議会 中央福祉学院 教授 山下 興一郎氏</p>	27人
10	3月21日 10時～12時	社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度の生活支援体制整備事業について</li> <li>・令和6年度の生活支援体制整備事業のスケジュールについて</li> <li>・令和6年度の作業シートの取組について</li> <li>・令和6年度の連絡会の議題について</li> </ul>	25人

## (4) 担い手の養成に関わる講座

開催日時	場 所	内 容	参加者
12月18日 10時～12時	四谷保健センター 等複合施設	「聞き上手になろう！～日々の暮らしに役立つ傾聴講座～」 講師：アクティヴリッスン 代表 澤村 直樹氏	33 人
1月31日 14時～16時	特別養護老人ホーム もみの樹園	「お出かけ支援入門講座」 講師： ・株式会社モテギ 新宿ケアセンター長 森岡 真也氏 ・モテギケアサービス新宿 管理者・サービス提供責任者 荻野 拓也氏 ・株式会社K-WORKER 環境改善部 統括部長 山上 智史氏	27 人

## (5) 会議や行事等への出席及び支えあいの体制整備による取り組み

(件)

地 区		内 容							地区別合計
		1 関係づくり	2 普及啓発	3 受地域課題の受け止め	4 ゆるやかな見守り体制づくり	5 支えあいのしくみ	6 支えあいの運営支援	7 福祉教育	
東(四谷・笹笥町・榎町)	令和5年度	293	24	0	0	4	17	13	351
	令和4年度	141	25	2	0	3	25	10	206
中央(若松町・大久保・戸塚)	令和5年度	334	70	4	0	7	30	7	452
	令和4年度	181	56	7	0	5	13	11	273
西(落合第一・落合第二・柏木・角筈)	令和5年度	240	33	3	0	5	20	9	310
	令和4年度	128	22	3	0	5	21	10	189
合 計	令和5年度	867	127	7	0	16	67	29	1113
	令和4年度	450	103	12	0	13	59	31	668

## 【関係づくり】

地域の会議出席、サロン出席、地域行事参加

## 【普及啓発】

生活支援に関する活動や事業の周知、事業問合せ対応

## 【地域課題の受け止め】

地域課題に関する地域住民(団体)からの相談受け止め、傾聴

## 【ゆるやかな見守り体制づくり】

「ゆるやかな見守り」普及のためのアプローチ、体制づくりの支援

## 【支えあいのしくみの立上げ支援】

居場所づくり立上げ支援、活動団体等立上げ支援、場の提供に関する相談

## 【支えあいのしくみの運営支援】

サロン等への企画助言・活動者紹介、支えあいのしくみに関わる活動者への相談支援

## 【福祉教育】

学校・地域団体・企業等からの相談対応及び福祉教育実施支援

## 2 地域活動者実践講座

目的	地域の一人ひとりが抱える暮らしの課題について、住民主体の新たな支えあい活動によって改善・解決を目指すことのできる人材を養成する。
内容	地域活動を実践するまでの具体的な流れを学び、実践者の具体的な取り組み方を知ることで、参加者が地域課題に気づき、我が事としてその課題を受け止め、課題解決へ向けた活動につながるよう、公開講座および3日間の連続講座を実施した。

開催日時	内 容	参加人数
6月7日 14時～16時	公開講座 つたえる つながる やさしい日本語 ～伝えるってどういうこと？@新宿～ ・講話「つたえる つながる やさしい日本語」 講師：東京都生活文化スポーツ局都民生活部 村田 陽次氏 ・新宿社協ボランティア事業紹介	25 人
7月4日 14時～16時	連続講座①「地域を知って、地域活動を始めよう！ ～外国籍の方との交流から考える～」 『外国籍の方と交流しながら多文化共生について考える』 協力：講師： 東京国際大学付属日本語学校、京進ランゲージアカデミー新宿校、北新宿三丁目町会長 竹内 洋一氏、認定NPO法人シャプラニール＝市民による海外協力の会 菅野 冴花氏、新宿区地域振興部多文化共生推進課	13 人
①7月13日 14時～15時 ②7月25日 14時～15時	連続講座②「地域を知って、地域活動を始めよう！ ～外国籍の方との交流から考える～」 『活動の場、情報発信の場を見学し、地域でできることを考える』 協力：①しんじゅく多文化共生プラザ ②みんなのリビング葛が谷	①8人 ②10人
8月7日 14時～16時	連続講座③「地域を知って、地域活動を始めよう！ ～外国籍の方との交流から考える～」 『自分ができることを考え、参加者同士で共有する』 ・日本人活動者・外国人活動者の体験談 協力：活動者：橋爪 正子氏、ゼヤートウエ氏 ・発表：受講者が地域でできることを発表する。	11 人

## 3 認知症サポーターステップアップ事業（区委託事業）

### (1) 認知症サポーターステップアップ研修【基礎編】

目的	在宅で生活する認知症高齢者やその家族を支援するために、必要な知識と対応スキルを習得するための研修を実施する。認知症サポーター養成講座修了後の地域活動支援講座として、チームオレンジ(※)活動への参加につなげる。
内容	※令和5年11月2日～11月27日にかけて全3回の講座及び区内施設での体験学習を実施した。  第1回 11月2日 医師による認知症の基本知識、在宅認知症高齢者の現状について 第2回 11月9日 認知症家族介護者の体験談、認知症高齢者への支援方法について 第3回 11月27日 高齢者施設職員による認知症高齢者への対応について、グループワークにて体験学習の振り返り ・体験学習 11月13日 優つくり村西落合：2名、けやき園：4名 11月14日 若葉高齢者在宅サービスセンター：2名、けやき園：4名 11月20日 優つくり村西落合 1名 11月22日 若葉高齢者在宅サービスセンター：2名
受講者	15 人
場 所	社会福祉協議会、区内高齢者施設

※地域で把握した認知症の方の悩みや家族の身近な生活支援ニーズなど、ステップアップ研修などを受講した認知症サポーターを中心とした支援者をつなぐしくみ

(2) 認知症サポーターステップアップ研修【応用編】

目的	平成27年度～令和5年度認知症サポーターステップアップ研修【基礎編】(旧:認知症高齢者等支援ボランティア講座)修了者を対象に、認知症に関する一層の知識を学ぶとともに、地域の現況を知り、チームオレンジへの参加につなげる機会とする。
日程	12月14日
内容	「認知症の方を地域で支えるために」をテーマに、講義とグループワークを実施した。 講師:株式会社モテギ 新宿ケアセンター長 森岡 真也氏 社協登録ボランティア松田 智子氏
受講者	18人
場所	社会福祉協議会

4 ふれあい・いきいきサロンの運営支援

(1) 相談件数等

	令和5年度	令和4年度
新規立ち上げ相談	109件	102件
登録サロン継続支援	440件	319件
支援サロン件数	64サロン	77サロン
いきいきサロン傷害保険加入支援	63サロン 20,708人	75サロン 18,535人

(2) 連絡会・交流会の実施

実施日	行事名	内容	場所	参加者
10月11日 13時30分～ 15時30分	ふれあい・いきいきサロン活動者向け講座	「しんじゅくの通いの場 知って！出かけて！元気になろう！ 活動紹介団体: ・お福分けの会(通所型住民主体サービスB) ・ぬくもりサロン(ふれあい・いきいきサロン) ・南元町すみれ会(高齢者クラブ) ・それいゆ(しんじゅく100トレグループ) ※生活支援体制整備事業と合同で開催	戸塚地域センター	23人
11月1日 14時～16時	通いの場・サロン情報交換会	こころもからだも健康になる『私の居場所』～地域で自分らしく暮らし続けるために欠かせない「食と健康」から考える～ 1 通いの場が健康にもたらす効果について 龍生堂薬局 管理栄養士 月村 菜乃花氏 2 情報交換会 「居場所の取り組み、課題、工夫について」	戸塚地域センター	16人

(3) 「ふれあい・いきいきサロン活動集 子育てサロン特集」の配布

子育てサロンの普及を図り、活動への参加につなげるため、民生委員・児童委員の新生児訪問活動時に「ふれあい・いきいきサロン活動集～子育てサロン特集～」を2,354件の対象世帯へ配布した。

(4) 「ふれあい・いきいきサロン活動集」の改訂

令和5年度版として改訂し、令和6年4月から配布予定。

5 成年後見センター事業(重点事業)

23 ページに記載

## 6 地域ささえあい活動助成金

### (1) 地域ささえあい活動助成

赤い羽根共同募金と歳末・地域たすけあい運動募金を活用し、地域の活動団体による支えあい・助けあい活動及び高齢者、障害者等の当事者団体による福祉活動等、地域のニーズに基づいた取り組みに対し助成している。令和5年度は全4回(3月・6月・9月・12月)、18事業に計2,112,000円を助成した。

☆…新規申請団体 新規申請団体数 1 団体 (前年度 3 団体)

主な分野	団体名	助成(申請)内容		決定額	種別番号	
子ども・子育て	1	認定特定非営利活動法人 10代・20代の妊娠SOS 新宿-キッズ&ファミリー	養育者支援プログラム 「叩かない叱らない子育て」		113,000 円	2
	2	Hugmom(はぐまむ)	Hugmom(サロン活動)		30,000 円	6
障害	3	特定非営利活動法人 ひまわりProject Team	ひまわりHome College		200,000 円	1
	4	特定非営利活動法人 クレインハウス	地域生活支援プログラム事業 (オンライン音楽療法)		200,000 円	1
	5	公益社団法人 東京都盲人福祉協会新宿支部 新宿区視覚障害者福祉協会	視覚障害者のための情報媒体(CD) 「白い杖」の作成と発送		71,000 円	1
	6	新宿区肢体不自由児者 父母の会	研修活動		66,000 円	1
	7	特定非営利活動法人 新宿ライフケアセンター	障害者と地域の人々が共に参加する 運動会及びその準備会		177,000 円	1
	8	特定非営利活動法人 新宿区レクリエーション協会	新宿区レクリエーション・フォーラム2023		200,000 円	2
	9	特定非営利活動法人 言語障害者の社会参加を支 援するパートナーの会和音	失語症コミュニケーション支援講座		108,000 円	2
	10	新宿区 手をつなぐ親の会	新宿区手をつなぐ親の会60周年記念事業		300,000 円	4
	11	社会福祉法人 新宿あした会	新宿あした会 設立20周年記念イベント		234,000 円	4
多世代・ 地域交流	12	クレインロール	クラシック音楽を楽しむ会		40,000 円	6
	13	SHINJUKU BASE	地域活動者の交流・学び合いネットワーク サロンSHINJUKU BASEの運営		24,000 円	6
	14	須賀町町会	町会事務所等におけるサロン活動		40,000 円	7
	☆ 15	戸山ハイツ南地区 自治会	「健康生き生き体操」フレイル(虚弱)予防		28,000 円	7
	16	西落合ハロウィン 実行委員会	2023ハロウィンイベント		89,000 円	2
	17	早稲田の街スプリング コンサート実行委員会	早稲田の街スプリングコンサート2024		200,000 円	2
その他	18	更生保護法人 斉修会	生け花教室		89,000 円	1
合計	令和5年度	申請事業	18 事業	交付決定金額 2,209,000 円 (内、返還額) 97,000 円		
		交付事業	18 事業			
	令和4年度	申請事業	21 事業	交付決定金額 2,853,000 円 (内、返還額) 420,000 円		
		交付事業	21 事業			

助成金の種別一覧(参考)

種別番号	助成種別	交付決定数
1	団体による当事者活動を支援する事業	6
2	団体による地域福祉の視点が盛り込まれた事業(町会を除く)	5
3	食支援を通じた子どもから高齢者を対象とした交流事業	0
4	団体の周年行事等、経常経費では対応できない活動(地域福祉につながるもの)(町会を除く)	2
5	地域福祉活動団体の立ち上げ	0
6	ふれあい・いきいきサロン等の継続活動支援	3
7	町会・自治会による支えあい・助けあい活性化の視点が盛り込まれた事業	2

(2) ふれあい・いきいきサロン 新型コロナウイルス感染症対応のための活動助成

赤い羽根共同募金と寄附金を原資として、区内の高齢者、障害者、子育て世代、ご近所同士などの集いの場であるふれあい・いきいきサロンの活動をするにあたり、新型コロナウイルス感染症の対応に関連する感染対策のための衛生用品費(マスク、手指消毒液など)、活動費(オンラインサロンに使用するインターネット通信料、Web会議ツール有料プラン料、会場使用料など)を助成している。

令和5年度は、全4回(3月・6月・9月・12月)、22事業に計626,000円を助成した。

主な分野	サロン名	決定額	サロン名	決定額
子ども・子育て	1 ブルーミング・ママ ママ解放区「オンライン*交流会」	20,000円	3 0歳子育て応援隊 0っこひろば	15,000円
	2 Hugmom(はぐまむ)	15,000円	4 子育てサロン・リバーサイド 中井	54,000円
高齢者	5 「私の思い出ノート」づくり の会	45,000円	9 えんがわ落合	15,000円
	6 高齢者の暮らしを考える会 あなたの手「おしゃべり会」	15,000円	10 いきいきサロン・こぶし	15,000円
	7 グランパの会	41,000円	11 ポコ・ア・ポコ	15,000円
	8 特定非営利活動法人 テラ・ガーデン新宿 パソコンサロン	15,000円	12 ここここサロン	54,000円
地域世代交流	13 LSSC研究会	62,000円	18 新宿美容CLUBリボン	15,000円
	14 みんなの自由な居場所 イドバタ	15,000円	19 須賀町ふれあいサロン	15,000円
	15 気まぐれカフェ「フラット」	23,000円	20 みんなのリビング葛が谷	65,000円
	16 クレインロール	20,000円	21 ぬくもりサロン	15,000円
	17 SHINJUKU BASE	65,000円		
障害	22 よりみちサロン	15,000円		

合計	令和5年度	申請事業	22件	交付決定金額 629,000円 (内、返還額) 3,000円
		交付事業	22件	
	令和4年度	申請事業	21件	交付決定金額 643,000円 (内、返還額) 49,000円
		交付事業	21件	

(3) 備品整備・施設整備助成

株式会社日本財託(新宿区西新宿)から寄附5,000,000円を受け、平成22年から区内福祉施設等の備品整備・施設整備の費用を助成している(事務費50,000円を除く)。

令和5年度は、21事業に計4,949,000円を助成した。

☆…新規申請団体 新規申請団体数 8 団体 (前年度 4 団体)

No	団体名	助成内容	決定額
1	特定非営利活動法人 国際ビフレンダーズ東京自殺防止センター	ノートパソコンの購入	200,000 円
2	社会福祉法人 結の会 オフィスクローバー	パソコンの購入	175,000 円
3	特定非営利活動法人 シニア演劇ネットワーク	ノートパソコンの購入	165,000 円
4	公益社団法人 東京都盲人福祉協会	ノートパソコンの購入	174,000 円
☆ 5	新宿ふれあいの会	タブレット型パソコンの購入	200,000 円
6	新宿HAHAha倶楽部	スタッキングテーブルの購入	59,000 円
☆ 7	クレインロール	脚付きホワイトボードの購入	29,000 円
☆ 8	医療法人社団 龍岡会 ワセダグループホーム	スタッキングチェア、テーブル、業務用 掃除機、洗濯物干し台セットの購入	181,000 円
9	社会福祉法人 日本視覚障害者団体連合	オンライン会議用備品(テーブル、椅子、 液晶ディスプレイ)の購入	179,000 円
☆ 10	社会福祉法人マザアス 地域密着型複合施設 マザアス新宿	電気温水器の購入	200,000 円
☆ 11	一般社団法人 反貧困ネットワーク	屋外用物置の購入	182,000 円
☆ 12	雀北二(ジャンペーリヤン)	麻雀牌・卓セットの購入	181,000 円
☆ 13	特定非営利活動法人 First Step	会議用Webカメラ、文字起こし機能付きボ イスレコーダーの購入	184,000 円
14	特定非営利活動法人 新宿ライフケアセンター	ドライブレコーダーの購入	57,000 円
15	特定非営利活動法人 えがおさんさん	ウェイクバランス他遊具、パルスオキシ メーター、移動用介護補助具の購入	193,000 円
16	特定非営利活動法人 クレインハウス	テーブルの修繕	79,000 円
17	更生保護法人 更新会	防炎性壁紙張替え工事	653,000 円
18	社会福祉法人 二葉保育園 二葉乳児院 地域子育て支援 センター二葉	壁紙張替え工事	226,000 円
19	社会福祉法人 東京ヘレン・ケラー協会 ヘレン・ケラー学院	自動水栓設備改修工事	352,000 円
20	社会福祉法人南風会 シャロームみなみ風	浴室グレーチング補修工事	653,000 円
21	社会福祉法人 サン	ベランダウッドデッキ改修	653,000 円
合 計		令和 5年度	申請事業 22 事業 (内、新規申請 8 事業) 交付事業 21 事業 (内、新規申請 7 事業) 非交付事業 1 事業 (内、新規申請 1 事業) 交付決定金額 4,975,000 円 内、減額交付 3 事業 (内、返還額) 26,000 円
		令和 4年度	申請事業 22 事業 (内、新規申請 4 事業) 交付事業 22 事業 (内、新規申請 4 事業) 非交付事業 0 事業 (内、新規申請 0 事業) 交付決定金額 4,799,000 円 内、減額交付 2 事業 (内、返還額) 46,000 円

### 3 多様な生活課題を受け止める相談体制の充実と包括的な支援

#### 1 暮らしの総合相談事業（重点事業）

##### (1) 暮らしの総合相談

①小地域活動支援（ボランティア・市民活動センター・東分室・ボランティアコーナーの運営）

(ア) 新規相談件数

拠 点	令和5年度	令和4年度
ボランティア・市民活動センター（高田馬場事務所）	延 1,200 件	延 997 件
ボランティア・市民活動センター（東分室）	延 508 件	延 335 件
新宿社協ボランティアコーナー	延 315 件	延 432 件
笹笥町ボランティアコーナー	延 35 件	延 54 件
若松町ボランティアコーナー	延 66 件	延 72 件
大久保ボランティアコーナー	延 35 件	延 54 件
落合第一ボランティアコーナー	延 51 件	延 79 件
落合第二ボランティアコーナー	延 58 件	延 94 件
柏木ボランティアコーナー	延 70 件	延 79 件
合 計	延 2,023 件	延 1,764 件

(イ) ボランティアコーナー受付・問合せ件数

(件)

拠 点	内 容					
	総合相談				情報交換	
	ボランティア相談		一般相談			
	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
笹笥町ボランティアコーナー	100	79	38	52	1,588	1,317
若松町ボランティアコーナー	82	87	44	64	1,353	1,233
大久保ボランティアコーナー	39	50	12	42	1,104	1,598
落合第一ボランティアコーナー	58	49	49	15	522	1,225
落合第二ボランティアコーナー	96	93	80	74	1,572	1,801
柏木ボランティアコーナー	72	60	57	66	1,521	1,588
合 計	447	418	280	313	7,660	8,762

※ ボランティア相談はボランティア活動希望及び利用希望の総数

(ウ) ボランティア保険の加入手続き件数

	令和5年度	令和4年度
ボランティア保険加入者 (うち天災プラン加入者)	6,771 人 ( 794 人)	5,945 人 ( 413 人)
行事保険加入件数	296 件	234 件
行事保険(当日参加対応型)加入件数	220 件	129 件

※行事保険(当日参加対応型)は、平成29年12月より開始

(エ) 使用済み切手の収集・整理

	令和5年度	令和4年度	送付先	用 途
収集・整理数 (換金相当額)	69 kg (約 124,200 円)	52.5 kg (約 94,500 円)	公益社団法人 日本キリスト教 海外医療協力会	発展途上国における出生時に 必要な医薬器具・薬品購入経 費等

(オ) 食事用エプロン(一組2枚)の無料配布

本会が寄附を受けたタオル(新品)を活用し、ボランティアが作製したエプロンを各窓口で希望者へ配布した。

(組)

配布先	令和5年度	令和4年度
個 人	0	20
施設・団体	64	24

(2) 車椅子・地域行専用機材の貸出

①保有台数 (台)

種 別	令和5年度	令和4年度
自走型(大型1含む)	77	73
介助型	68	89
子ども用	1	2
合 計	146	164

※ 子ども用車椅子は令和4年度に貸出期間5年を経過したため、貸出を一時停止し、通常の車椅子貸出で対応していたが、令和5年度中に1台購入した。

②寄附を受けた車椅子と無償譲渡した車椅子 (台)

	令和5年度	令和4年度
寄 附	50	22
譲 渡	7	9

※ 貸出期間5年を経過した車椅子について、点検のうえ町会・自治会、福祉施設等に無償譲渡している。

③貸出拠点と貸出実績

(ア) 社会福祉協議会延べ取扱件数・・・短期貸出(2週間程度)及び長期貸出(4か月) (件)

貸 出 拠 点	新 規		更 新	
	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
ボランティア・市民活動センター(高田馬場事務所)	167	195	42	48
ボランティア・市民活動センター(東分室)	80	60	14	15
笹岡町ボランティアコーナー	24	31	0	1
若松町ボランティアコーナー	58	38	8	0
大久保ボランティアコーナー	100	72	17	11
落合第一ボランティアコーナー	48	34	5	5
落合第二ボランティアコーナー	57	71	12	9
柏木ボランティアコーナー	58	32	15	5
合 計	592	533	113	94

(イ) 特別出張所延べ取扱台数・・・短期貸出(2週間程度)

(台)

特別出張所名	令和5年度	令和4年度	特別出張所名	令和5年度	令和4年度
四谷特別出張所	52	54	戸塚特別出張所	28	14
笹岡町特別出張所	27	65	落合第一特別出張所	34	23
榎町特別出張所	59	80	落合第二特別出張所	42	41
若松町特別出張所	53	40	柏木特別出張所	47	37
大久保特別出張所	81	81	角筈特別出張所	39	33
			合 計	462	468

④地域行専用機材の貸出

(件)

機 材 名	貸出件数		機 材 名	貸出件数	
	令和5年度	令和4年度		令和5年度	令和4年度
綿菓子機	6	4	テント(中)	0	2
ポップコーン機	-	1	鉄板焼機	2	1
臼と杵(セット)	1	1	輪投げセット	7	5
発電機	0	0	ゲーゴルゲーム	12	8
テント(大)	0	1	ポッチャ	5	20
			合 計	33	43

※ 令和5年度からポップコーン機の取扱を停止(地域センターへ移行)

⑤福祉教育・体験学習用機材の保有台数・貸出数

(ア)高齢者疑似体験セットの貸出内訳

学校・団体等	高齢者疑似体験セット(大人) 【保有台数10セット】				高齢者疑似体験セット(キッズ) 【保有台数10セット】			
	令和5年度		令和4年度		令和5年度		令和4年度	
	貸出件数	貸出数	貸出件数	貸出数	貸出件数	貸出数	貸出件数	貸出数
小学校	0件	0セット	0件	0セット	4件	27セット	4件	40セット
中学校	1件	7セット	0件	0セット	0件	0セット	0件	0セット
高校	0件	0セット	0件	0セット	0件	0セット	0件	0セット
大学	1件	10セット	0件	0セット	0件	0セット	0件	0セット
専門学校	2件	12セット	2件	20セット	0件	0セット	0件	0セット
企業	2件	11セット	0件	0セット	0件	0セット	0件	0セット
団体	2件	5セット	1件	2セット	1件	2セット	0件	0セット
合計	8件	45セット	3件	22セット	5件	29セット	4件	40セット

(イ)体験用車椅子の貸出内訳

学校・団体等	体験用車椅子(自走式) 【保有台数30台】				スポーツ競技用車椅子 【保有台数13台】			
	令和5年度		令和4年度		令和5年度		令和4年度	
	貸出件数	貸出台数	貸出件数	貸出台数	貸出件数	貸出台数	貸出件数	貸出台数
小学校	6件	76台	9件	120台	0件	0台	0件	0台
中学校	0件	0台	0件	0台	0件	0台	0件	0台
高校	0件	0台	0件	0台	0件	0台	0件	0台
大学	3件	12台	1件	8台	0件	0台	0件	0台
専門学校	5件	27台	1件	11台	0件	0台	0件	0台
企業	1件	2台	1件	1台	0件	0台	1件	13台
団体	5件	21台	5件	12台	6件	52台	4件	38台
合計	20件	138台	17件	152台	6件	52台	5件	51台

2 自立相談支援・貸付事業(重点事業)

社会的孤立、経済的困難、単身高齢世帯の増加、8050問題などを背景とした、複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、区や関係機関、社協各事業間の調整を図り、総合的な相談支援を行う。

令和2年3月25日から令和4年9月30日まで申請受付した「新型コロナウイルス感染症に係る生活福祉資金特例貸付」は令和5年1月から各資金ごとに償還開始となり、償還が困難な借受人への相談支援の対応を継続して行っている。

(1)総合相談件数

①新規相談件数

(件)

令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
3,068	5,060	6,287	13,087	1,009	658

(ア)男女別内訳

(人)

	男性	女性	不明	合計
令和5年度	1,705	1,354	9	3,068
令和4年度	3,085	1,973	2	5,060

(イ)年代別内訳

(人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
令和5年度	9	232	529	801	766	356	280	81	14	3,068
令和4年度	14	629	1,417	1,177	1,007	471	264	71	10	5,060

②継続相談件数 ※借入世帯、各事業登録者への対応 (件)

継続相談件数内訳	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
継続相談件数(延べ数)	2,104	2,432	2,676	2,905	4,946	2,913

(ア)継続相談件数 内容内訳 (件)

	教育支援資金	福祉資金(福祉費)	緊急小口資金	総合支援資金	不動産担保型生活福祉資金	受験生チャレンジ支援資金	応急小口資金	自立相談支援	VC事業等	合計
令和5年度	648	117	95	173	77	486	113	359	36	2,104
令和4年度	706	50	69	133	76	966	83	73	276	2,432

③事業利用決定件数 (件)

	教育支援資金	福祉資金(福祉費)	緊急小口資金	総合支援資金	不動産担保型生活福祉資金(要保護世帯向け含)	受験生チャレンジ支援資金	応急小口資金	自立相談支援	合計
令和5年度	19	0	3	0	1	201	4	7	235
令和4年度	16	0	3	0	1	188	5	4	217

(2) 自立相談支援事業〔区委託事業〕

	令和5年度	令和4年度
新規相談件数	143 件	120 件
利用申込件数	7 件	4 件
プランによる支援申込件数	1 件	0 件
支援調整会議開催回数	7 回	2 回
支援調整会議における取扱いケース数	7 件	2 件

(3) 生活福祉資金貸付事業〔東社協委託事業〕

①生活福祉資金貸付事業

( )は人数

種 類	令和5年度		令和4年度	
	決定件数	金 額	決定件数	金 額
教育支援資金	19(12) 件	16,241,500 円	16(10) 件	13,462,500 円
福祉資金・福祉費	0(0) 件	0 円	0(0) 件	0 円
福祉資金・緊急小口資金	3(3) 件	214,000 円	3(3) 件	196,000 円
臨時特例つなぎ資金	0(0) 件	0 円	0(0) 件	0 円
総合支援資金	0(0) 件	0 円	0(0) 件	0 円
うち住宅入居費	0(0) 件	0 円	0(0) 件	0 円
うち一時生活再建費	0(0) 件	0 円	0(0) 件	0 円
うち生活支援費	0(0) 件	0 円	0(0) 件	0 円
不動産担保型生活資金	0(0) 件	0 円	0(0) 件	0 円
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	1(1) 件	5,750,000 円	1(1) 件	9,730,000 円
合 計	23(16) 件	22,205,500 円	20(14) 件	23,388,500 円

## (ア)不動産担保型生活資金内訳

令和5年度貸付状況		令和4年度貸付状況	
累計貸付者数	2人	累計貸付者数	2人
累計貸付決定額	42,070,000円	累計貸付決定額	42,070,000円

## (イ)要保護世帯向け不動産担保型生活資金内訳

令和5年度貸付状況		令和4年度貸付状況	
累計貸付者数	5人	累計貸付者数	5人 (貸付限度額到達者 1人含む)
累計貸付決定額	31,659,650円	累計貸付決定額	39,180,000円

## ②債権件数(東社協発行償還状況一覧表に基づく管理債権件数) (件)

	令和5年度	令和4年度
教育支援資金・福祉資金(福祉費・緊急小口資金)	423	425
総合支援資金	本則	443
	特例貸付	18,855
生活復興支援資金	2	2
不動産担保型生活資金	2	2
要保護世帯向け不動産担保型生活資金※	6	5
離職者支援資金(平成21年10月25日終了)	61	63
合 計	17,828	19,795

※R5.5付で契約終了となった未償還の債権を含む件数

## ③生活福祉資金償還率 (%)

	令和5年度		令和4年度	
	当年度	過年度	当年度	過年度
教育支援資金・福祉資金 (福祉費・緊急小口資金)	63.82	11.88	60.54	14.86
教育支援資金	62.69	11.94	59.40	14.72
緊急小口資金	97.44	0.00	100.00	0.00
福祉資金	76.34	8.55	78.71	23.17
総合支援資金	30.24	3.84	31.89	2.58
生活復興支援資金	0.00	0.00	0.00	0.00
離職者支援資金(平成21年10月25日終了)		0.00		0.00
合 計	57.17	7.34	53.07	7.29

## (4)受験生チャレンジ支援貸付事業〔区委託事業〕

種 類	令和5年度		令和4年度	
	決定件数	金 額	決定件数	金 額
中3学習塾	62件	11,730,100円	62件	12,066,300円
中3受験料	59件	1,351,100円	61件	1,358,000円
高3学習塾	34件	6,527,500円	27件	5,207,000円
高3受験料	46件	2,882,500円	38件	2,766,000円
合 計	201件 (104世帯)	22,491,200円	188件 (94世帯)	21,397,300円

## (5)ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業〔東社協委託事業〕

種 類	令和5年度		令和4年度	
	決定件数	金 額	決定件数	金 額
①高等職業訓練促進資金	0件	0円	1件	500,000円
②住宅支援資金	0件	0円	0件	0円

※①は都及び都内区市が実施する母子及び父子並びに寡婦福祉法による母子・父子家庭高等職業訓練促進給付金の支給者が対象。②は児童扶養手当の支給を受け、都及び都内区市が実施する母子・父子自立支援プログラムの策定を受けている人が対象。

## (6) 応急小口資金貸付事業

		令和5年度	令和4年度
当年度	貸付決定件数	4 件	5 件
	貸付決定金額	288,000 円	319,000 円
	償還件数	25 件	93 件
	償還調定額	186,500 円	642,225 円
	償還金額	145,750 円	485,925 円
	未償還額	40,750 円	156,300 円
	償還率	78.15 %	77.66 %
過年度	償還件数	13 件	7 件
	償還調定額	3,074,869 円	3,054,369 円
	償還金額	126,200 円	48,125 円
	償還率	4.10 %	1.58 %
	延滞利子収入	0 円	0 円
債 権 件 数		53 件	55 件

## (7) 緊急援護事業

	令和5年度	令和4年度
支給・貸付件数	1,724 件	1,922 件
返済件数	1,124 件	979 件
支給・貸付金額	2,498,372 円	4,097,557 円

## (8) 新型コロナウイルス感染症に係る生活福祉資金特例貸付〔東社協委託事業〕

(借入申請受付: 令和2年3月25日～令和4年9月30日)

(件)

種 類	貸付件数	償還猶予決定件数		償還免除決定件数	
		令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
緊急小口資金 ※1	14,109	124		367	3,544
総合支援資金(初回)※2	11,361	111		401	4,117
総合支援資金(延長)※2	4,837	34		1,504	
総合支援資金(再貸付)※2	6,774				
合 計	37,081	269	0	2,272	7,661

※1 緊急小口資金の貸付件数は、令和6年3月末に新宿区に居住中の借受人数

※2 総合支援資金(初回・延長・再貸付)の貸付件数は、申請時に新宿区に居住していた各資金ごとの借受人数

## ① 特例貸付借受人アンケート調査の実施

特例貸付借受人の生活状況の把握及び、貸付終了後も生活課題を抱える世帯に対し、必要な相談支援を行うことを目的に、アンケート調査を実施した。なお、アンケート調査の結果は、借受人へのフォローアップ支援等に活用するため、地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターとの共同研究とし、結果分析を行った。

	実施月	調査件数	回答件数	回答者に対する 相談支援
令和5年度	7月	11,673 件	1,316 件	836 件
令和4年度	4・6・8月	14,173 件	2,836 件	640 件

## (9) 発行物・研修等への協力

## ① 発行物

- ・「NORMA社協情報10-11月号 特集(償還開始後の借受人を含む生活困窮者支援)」寄稿
- ・「コロナ特例貸付の借受人へのフォローアップ支援事例集～社協のソーシャルワーク機能を発揮した実践事例～」寄稿

## ② 研修等

- ・「日本心理学会大会第87回大会 公募シンポジウム『中高年期からの孤立・困窮予防に向けた挑戦－心理学研究と現場を結ぶ』」登壇(9月17日)
- ・「令和5年度社会福祉協議会活動全国会議 第2分科会(借受人を含む生活困窮者への支援)」登壇(11月8日)
- ・「令和5年度福祉のしごとミニセミナー 社協の仕事とは」登壇(2月27日)

### 3 成年後見センター事業（重点事業）

#### (1) 成年後見制度利用推進事業〔区委託事業〕

##### ① 成年後見・権利擁護相談窓口の設置

##### (ア) 体制

一般相談	月～金曜日の午前8時30分～午後5時
専門相談	毎週月・水・金曜日の午後1時～4時 月曜日 司法書士(公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート東京支部) 水曜日 弁護士(東京弁護士会) 金曜日 社会福祉士 (公益社団法人東京社会福祉士会権利擁護センター「ぱあとなあ東京」)
訪問専門相談	司法書士、社会福祉士及び弁護士による訪問相談
推進機関支援弁護士	東京弁護士会弁護士による法的支援

##### (イ) 実績

##### ・新規相談者数 (人)

令和5年度	238
令和4年度	210

##### ・相談者数(問合せ・相談延べ人数) (人)

	相談者数	相談者数					
		一般相談	専門相談	司法書士	弁護士	社会福祉士	訪問(司・社・弁)
令和5年度	2,967	2,826	141	41	53	45	2
令和4年度	2,645	2,521	124	38	47	36	3

※一般相談(職員による相談)の合計:問合せ・相談累計件数を含む。

##### ・相談内容 (件)

内 容	件 数		内 容	件 数	
	令和5年度	令和4年度		令和5年度	令和4年度
法定後見	1,224	1,277	金銭管理	576	514
法定後見(親族後見)	243	308	財産保護	74	35
任意後見	132	153	生活	1,099	842
法定後見(法人)	15	21	虐待	7	14
任意後見(法人)	26	56	苦情	13	5
相続	57	36	その他	467	509
遺言	53	55	合 計	3,986	3,825

※相談内容は複数カウント

##### ・相談対応結果 (件)

対応・結果	件 数		対応・結果	件 数	
	令和5年度	令和4年度		令和5年度	令和4年度
制度説明	227	220	機関支援専門家	0	2
書類配付	67	57	金銭管理	71	65
申立書作成支援	39	45	財産保護	1	11
第三者紹介	93	69	生活支援	201	140
法人後見	1	4	助言	531	514
家裁同行	0	2	情報提供	1,734	1,812
申立・報酬助成案内	13	2	苦情対応・解決	2	1
専門相談員	339	256	その他	467	544
			合 計	3,786	3,744

※相談対応は複数カウント

②広報・普及宣伝

(ア) 広報活動(制度・相談窓口・成年後見センター・講演会等案内)

・広報新宿	18 回掲載
・新宿社協だより「けやき」	4 回掲載
・パンフレット「成年後見制度とは」	適宜配布
・チラシ「成年後見制度のご案内」	適宜配布
・成年後見センターだより	第 22 号 3,600 部発行
	第 23 号 3,600 部発行
・チラシ「成年後見センター 専門相談のご案内」	適宜配布

(イ) 普及活動

・講演会・出前講座等の実施	16 回	356 人参加
・その他普及啓発活動(町会、民児協等)	延 45 回	

③後見人等養成・活動支援

(ア) 新宿区登録後見活動メンバー(社会貢献型後見人)支援・養成

	令和5年度	令和4年度
登録者数	77 人	77 人
連絡会・研修会 開催回数	4 回	6 回
成年後見人等 受任件数	13 件 (補助 0 保佐 2 後見 11)	13 件 (補助 0 保佐 4 後見 9)
後見監督等受任件数	17 件	15 件
成年後見人等 年度受任件数	H22 3件、H23 1件、H24 3件、H25 5件、H27 3件、H28 5件、H29 3件、 H30 2件、R1 4件、R2 5件、R3 2件、R4 1件、R5 4件(受任13件、終了28件)	
後見監督業務件数等	17 件 376 回	15 件 413 回

(後見監督業務は終了した4件も含む)

(イ) 後見人等支援

	令和5年度	令和4年度
相 談	随時対応	随時対応
後見人交流会(Café)	2 回 16 人	2 回 21 人
個別支援	32 人 延 764 回 (後見監督17件、監督業務実施回数含む)	43 人 延 809 回 (後見監督15件、監督業務実施回数含む)

(ウ) 市民後見人養成基礎講習

(人)

受講者	令和5年度				令和4年度			
	説明会 参加者	講習 申込者	受講 決定者	選考合格 登録者	説明会 参加者	講習 申込者	受講 決定者	選考合格 登録者
全体	28	14	10	8	27	16	14	6
男性			5	2			4	2
女性			5	6			10	4

※養成基礎講習説明会(新宿区実施)

・養成基礎講習

講習期間	令和5年10月25日～11月29日
講習時間	6日間(24時間)

・登録後見活動メンバー登録選考

選考日	令和5年12月15日
選考内容	筆記及び個人面接
選考合格者	8人(男性2人、女性6人) ※令和4年度市民後見人養成基礎講習受講者1名を含む

## (エ)親族後見支援

	令和5年度	令和4年度
支援対象実人数	81人	67人
延べ支援回数	376回	446回
成年後見利用検討・支援会議の開催回数	3回	6回

検討・支援会議委員・・・弁護士、司法書士、社会福祉士、行政職員 計5人

## ④地域の社会資源との連携・協力による支援活動(専門家・福祉関係者等の関係強化・連携)

(回)

	令和5年度	令和4年度
連絡会議等(民生委員・児童委員協議会ほか)	14	12
意見交換等(弁護士会等専門職団体ほか)	19	18
事業協力(セミナー講師派遣、講座開催支援、視察受入等)	4	5

## ⑤成年後見推進機関の運営 (回)

運営委員会の開催	令和5年度	令和4年度
	3	3

運営委員・・・・・・ 弁護士、司法書士、社会福祉士、医師、民生委員、社協理事、高齢者総合相談センター職員、学識経験者、福祉団体職員、行政職員 計13人

オブザーバー・・・ 金融機関 計2人

専門委員会の開催	令和5年度		令和4年度	
	0回	令和5年度は未設置	0回	令和4年度は未設置

## ⑥行政等との連携

(ア)新宿区との連携、福祉部との打合せ会等

8回

(イ)東京都、東社協との連携、利用者支援区市町村連絡会会議等

6回

## (2)法人後見事業〔区補助事業〕

## ① 相談支援

(ア)新規相談者数

(人)

令和5年度	1	令和4年度	8
-------	---	-------	---

(イ)相談者数(問合せ・相談延べ人数)

(人)

	相談者数	相談者数					
		一般相談	専門相談	司法書士	弁護士	社会福祉士	訪問(司・社・弁)
令和5年度	186	186	0	0	0	0	0
令和4年度	244	241	3	0	1	0	2

②受任状況

(ア) 法人後見受任検討委員会の開催 (回)

委員会の開催	令和5年度	令和4年度
	3	4

受任検討委員・・・弁護士、司法書士、社会福祉士、行政職員 計5人

(イ) 受任概況

(件)

	法定後見		任意後見	
	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
後見人等候補承諾状況	1	1	0	1
後見人等受任状況	8 (後見 6) (保佐 2)	8 (後見 6) (保佐 2)	9	8
終了件数	1	0	0	0
後見等監督人受任状況	13	13	(後見監督人受任状況は再掲)	

(ウ) 活動状況

(件)

	法定後見		任意後見	
	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
後見人等活動状況	1,487	1,499	383	470
後見等監督人活動状況	17	15	(後見監督人活動状況は、終了した4件も含む)(再掲)	

③ 広報・普及宣伝

(ア) 広報活動(事業等案内)

- ・広報新宿 2 回掲載
- ・新宿社協だより「けやき」 2 回掲載
- ・成年後見センターだより 第23号 3,600 部発行
- ・パンフレット「成年後見制度とは」 適宜配布
- ・チラシ「新宿区社会福祉協議会が法人として成年後見人等になります」 適宜配布
- ・「新宿社協ガイド 70周年記念版」 適宜配布
- ・新宿社協ホームページ、X(旧Twitter)、Facebook、LINE 適宜掲載
- ・専門誌「実践成年後見(No.108)」への「新宿区社会福祉協議会による任意後見契約締結および発効までの支援」寄稿 1 回掲載

(イ) 普及活動

- ・講演会・出前講座等の実施 1 回 4 人参加
- ・その他普及啓発活動(町会、民児協等) 延 0 回

(ウ) 任意後見事業説明会の開催

2 回 37 人参加

(エ) 視察受け入れ(浦安市社協・宮崎県社協)

2 回 6 人参加

## (3)地域福祉権利擁護事業〔東社協委託事業〕

## ①事業実績

(件)

内 容	認 知 症	知的障害	精神障害	その他 ※1	合 計	
					令和5年度	令和4年度
問合せ件数 (制度・事業等)	16	6	15	10	47	67
初回相談件数	69	9	28	8	114	144
新規契約件数 ( )は生活保護受給者数	24 ( 9 )	1 ( 1 )	2 ( 2 )	1 ( 0 )	28 ( 12 )	31 ( 23 )
解約件数 ( )は生活保護受給者数	23 ( 15 )	1 ( 0 )	3 ( 3 )	1 ( 1 )	28 ( 19 )	26 ( 15 )
年度末の契約件数 ( )は生活保護受給者数	81 ( 52 )	8 ( 7 )	20 ( 14 )	4 ( 1 )	113 ( 74 )	113 ( 81 )
うち通帳・ 印鑑預かり	24 ( 21 )	5 ( 4 )	10 ( 6 )	2 ( 0 )	41 ( 31 )	44 ( 39 )
うち書類等 預かり	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )
延契約件数 ( )は生活保護受給者数	104 ( 67 )	9 ( 7 )	23 ( 17 )	5 ( 2 )	141 ( 93 )	139 ( 96 )
専門員延相談援助件数	8,337 (1,962)	760 (150)	2,103 (289)	321 (67)	11,521 (2,468)	5,909 (1,783)
( )は 訪問や 会議等 の回数						
契約者	4,393 (1,177)	308 ( 63 )	1,275 (167)	255 ( 46 )	6,231 (1,453)	2,131 (744)
契約外(契約前・ 解約後等)	3,944 (785)	452 ( 87 )	828 (122)	66 ( 21 )	5,290 (1,015)	3,778 (1,039)
生活支援員 ※2 延援助件数(契約者)	854	111	246	59	1,270	1,190

※1 高次脳機能障害、病気等

※2 生活支援員数 65名

## ②解約理由

(件)

死亡	施設入所・ 長期入院	判断能力 低下	本人自立	他地区へ 転居	その他
10	10	2	1	2	3

## ③成年後見制度の申立支援・連携及び活用実績

(件)

対象者	令和5年度	令和4年度
地域福祉権利擁護事業契約者	1	1
上記以外の相談者	37	33

## ・契約者外預かり

申立前、地域福祉権利擁護事業(地権)契約前の保全等

(件)

	保管件数	延べ件数	内 訳	
令和5年度	20	23	申立前 21	地権契約前 2
令和4年度	19	23	申立前 19	地権契約前 4

## ④その他

- ・地域福祉権利擁護事業 事業説明会の開催 2 回
- ・生活支援員連絡会の開催 2 回
- ・東社協等が主催する外部の専門員、生活支援員研修会に参加 5 回

#### 4 避難者支援

##### (1) さんさん広場の運営支援

開催日時	場 所	内 容	開催状況	
			令和5年度	令和4年度
原則 毎月第2 土曜日 午後1時 ～4時	都営百人 町四丁目ア パート 14号棟 集会室	学生ボランティアによるネットワーク「joy study project(※)」が主体となって、主に子ども学習と遊びの支援、家族交流の場「さんさん広場」を平成24年2月から周辺住民や支援団体と協力して開催した。 平成28年4月から学生団体と自治会の自主運営でサロンを数回開催し、令和元年度に地域の自主活動となった。 今後も地域活動(サロン)支援を継続していく。	学生ボランティアネットワーク「joy study project」は、令和4年度で解散し、団体のOB・OGが支援を継続している。 自治会主催の夏祭りが開催された。	地域の自主活動へ移行となったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未開催

※ joy study project…

大学生のボランティアネットワークによる、区内に居住する東北からの避難者のサポートを目的とした支援活動である。

百人町周辺の既存住民との関係づくりをはじめ、地域の活性化に活動の重点を置き、地元住民や町会、支援団体や企業と連携した活動を展開している。

##### (2) 情報紙「交流サロン通信」の発行及び配布

目 的	避難者向け情報紙を発行し、区所管課とともに戸別訪問配布により転居先などに関する情報、避難者に必要な情報などを届ける
内 容	・情報紙発行回数 : 12回 ・配布戸数 : 延 80戸

##### (3) 避難者交流事業の運営協力「いきいき・ふれあいサロン浪江」(実施会場の提供)

開催日時	場 所	内 容	参加者数
9月29日 10時30分～12時	社会福祉協議会	町民同士の交流、浪江町の近況報告等 対象: 都内在住で浪江町に住所がある方	15人
12月8日 10時30分～12時	社会福祉協議会	町民同士の交流、浪江町の近況報告等 対象: 関東地区在住で浪江町に住所がある方	28人

#### 4 住民同士の支えあいによる心豊かな暮らしの実現

##### ボランティア・市民活動コーディネーター事業

	令和5年度	令和4年度
活動登録者数*	1,782人	1,641人
活動団体数	149団体	152団体
新規ボランティア活動希望者数(内訳①②)	231人	182人

\* ちょこっと・暮らしのサポート事業協力員、地域見守り協力員、施設でのボランティア活動者

##### ①男女別内訳

(人)

	男性	女性	不明	合 計
令和5年度	53	177	1	231
令和4年度	56	126	0	182

##### ②年代別内訳

(人)

	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不 明	合 計
令和5年度	0	48	36	21	24	33	27	42	0	231
令和4年度	0	38	20	19	17	35	24	28	1	182

# 1 ちょこっと・暮らしのサポート事業

## (1) 登録者数

	令和5年度	令和4年度
利用者	1,645 人	1,497 人
協力者	566 人	531 人
協力団体	11 団体	10 団体
延べ活動回数	延 1,914 回	延 2,143 回
新規マッチング数	437 回	428 回

(件)

(件)

主な活動内容		(主として継続活動)			
		掃除	買い物	食事づくり	外出付添い
令和5年度	有償活動数	425	168	1	334
	無償活動数	89	53	0	11
令和4年度	有償活動数	440	190	9	323
	無償活動数	94	31	0	39

(単発活動)	
軽作業等 ※無償	その他活動 ※有償含む
142	165
167	159

## (2) 普及啓発講座の実施

利用者等からの依頼やニーズが多い内容で、ボランティアのスキルアップや実践に役立てることを主な目的とし、新たな担い手の発掘のため、講話終了後にボランティアの募集情報の提供を行うなど、ボランティア活動を始めるきっかけとした。

開催日	講座名	講師	参加者数
6月21日 14時～16時	ボランティア活動のためのお掃除講座～ちょこっと掃除でキレイをキープ～	①活動で利用者宅に入る際の心得 四谷高齢者総合相談センター 梅田 真一郎氏 ②お掃除のコツ ライオン株式会社 総務室長 片山 清氏	31 人
12月18日 10時～12時	聞き上手になろう！～日々の暮らしに役立つ傾聴講座～	アクティヴリッスン 代表 澤村 直樹氏 ※生活支援体制整備事業と合同で開催	33 人
1月31日 14時～16時	お出かけ支援入門講座	・株式会社モテギ 新宿ケアセンター長 森岡 真也氏 ・モテギケアサービス新宿 管理者・サービス提供責任者 荻野 拓也氏 ・株式会社K-WORKER 環境改善部 統括部長 山上 智史氏 ※生活支援体制整備事業と合同で開催	27 人

## (3) ボランティア交流会の開催

社協登録協力員等の地域活動者及び地域活動に興味関心のある参加者を対象に、交流会を開催した。交流を通じて、参加者同士が知り合い、互いの活動を知ること、地域での支えあい活動の理解を深めた。

実施日時	内容	場所	参加者数
3月2日 13時30分～ 15時30分	第一部 資生堂講座 講師:資生堂ジャパン株式会社 ソーシャルエリアパートナー 阿部 洋子氏、千葉 薫氏 日常に取り入れられるケア(唾液腺マッサージ、ハンドケアなど)を実践しながら、「お手入れ」による「生きがいの」や「フレイル予防」との関係について学び、ボランティア活動時に利用者とのコミュニケーションに活かす。 第二部 交流会 これまでの地域活動、今後地域または自分のためにチャレンジしたい活動などを話し合い、交流を深めた。	戸塚地域センター 多目的ホール	38 人

## 2 地域見守り協力員事業（区委託事業）

### (1) 実施状況

地域見守り協力員事業	令和5年度	令和4年度
利用者数	551 人	539 人
協力員数	480 人	439 人
延べ訪問回数	延 13,064 回	延 13,240 回

### (2) 新規登録者数 (人)

	令和5年度	令和4年度
利用者	125	106
活動者	84	76

### (3) 地域見守り協力員・各地区連絡会・全体会の開催

#### 各地区地域見守り協力員連絡会

地 区	実施日	場 所	内 容	参加者数	
東	四谷 笹笥町 榎町	6月22日	榎町 地域センター	・食支援サポーターによる講話 テーマ「食支援サポーター講座～気づきをつないでたべられる街づくりを～」 ・意見交換	28 人
中央	若松町	6月29日	若松 地域センター	・若松町高齢者総合相談センター所長による講話 テーマ「見守りボランティアと介護保険」 ・意見交換	11 人
	大久保	6月23日	大久保 地域センター	・(株)龍生堂薬局本店 薬剤師による講話 テーマ「防災グッズ準備のポイント」 ・意見交換	11 人
	戸塚	6月19日	社会福祉 協議会	・(株)龍生堂薬局本店 薬剤師による講話 テーマ「高齢者の熱中症について」 ・高齢者総合相談センター職員による講話 テーマ「介護保険について」 ・意見交換	17 人
西	落合第一	6月28日	落合第一 地域センター	・落合第一高齢者総合相談センター所長による講話 テーマ「見守り活動に役立つ話し方・聞き方を学ぼう！」 ・意見交換	13 人
	落合第二	6月14日	落合第二 地域センター	・法テラス東京地方事務局弁護士による講話 テーマ「個人情報について」 ・意見交換会(民生委員との懇談会) ※落合第二高齢者総合相談センター 主催見守り支えあい連絡会と合同開催	35 人
	柏木・ 角筈	6月20日	柏木 地域センター	・新宿区健康政策課職員による講話 テーマ「住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために」 ・意見交換	18 人

東	四谷	10月25日	四谷保健センター	・薬剤師による講話 テーマ「薬剤師の役割や付き合い方について」 ・交流会	16人
	箆笥町	10月17日	牛込箆笥地域センター	・ボランティアによる楽器演奏・合唱 ・交流会	34人
	榎町	10月27日	榎町地域センター	・ボランティアによる手のもみほぐし体験 ・交流会	16人
中央	若松町	10月19日	若松地域センター	・区健康づくり課職員によるフレイル予防の講話と「しんじゅく100トレ体操」 ・牛込警察署からのお知らせ ・交流会	12人
	大久保	10月24日	大久保地域センター	・地域の企業(マルコメ株式会社)による講話 テーマ「お味噌の食べ比べ教室」 ・交流会	13人
	戸塚	10月26日	戸塚地域センター	・管理栄養士による講話 テーマ「低栄養について」 ・新宿いきいき体操 ・交流会	15人
西	落合第一	11月1日	落合第一地域センター	・地域の活動団体(マグノリア)による音楽会 「マグノリア音楽会」～音楽で心と体を整えよう～ ・交流会	41人
	落合第二	10月19日	落合第二地域センター	・戸塚警察署による講話 テーマ「安心して暮らすための地域防犯教室」 ・交流会	14人
	柏木・角筈	10月23日	北新宿地域交流館	・見守り利用者による講座 テーマ「太極拳・護身術講座」 ・交流会	16人
全体会	2月29日	戸塚地域センター	・講話:「高齢者の生活における詐欺への注意喚起と見守り活動のポイント」 講師:全国消費生活相談員協会 消費生活相談員 高崎 美代子氏	40人	

(4) 関係機関・協力機関との連携

高齢者総合相談センター等関係機関との連携のため、各地区の「高齢者見守り支えあい連絡会」に出席した。

連携機関名	実施日	内 容
四谷 高齢者総合相談センター	11月22日	・地域の関係者・関係機関でのコロナ禍を踏まえた事例紹介・情報共有 ・グループワーク
笹筒町 高齢者総合相談センター	10月6日	・地域の関係者や関係機関との情報共有、及び高齢者総合相談センターの周知方法についての意見交換 ・質疑応答
榎町 高齢者総合相談センター	9月27日	・見守りに関する事例 ・グループワーク ・質疑応答 ・意見交換
大久保 高齢者総合相談センター	12月13日	・テーマ:「高齢者を消費者詐欺被害から守るために」 ・区立消費生活センター、新宿警察署から見守り活動報告 ・グループワーク
戸塚 高齢者総合相談センター	12月8日	・戸塚地域の高齢者の見守りと支え合いについての意見交換
落合第一 高齢者総合相談センター	9月19日	・戸塚警察署生活安全課防犯係による講話 「犯罪に巻き込まれない地域づくり・見守り」 ・質疑応答
落合第二 高齢者総合相談センター	6月14日	・講話「個人情報について」 ・意見交換会(民生委員との懇談会) ※地域見守り協力員事業 見守り協力員連絡会と合同開催
柏木 高齢者総合相談センター	10月17日	・見守りに関するアンケート集計結果報告 ・地域の関係者や関係機関との情報共有と意見交換
角筈 高齢者総合相談センター	1月23日	・テーマ「角筈地域における高齢者見守り活動と地域との協力について」 ・地域の関係者や関係機関との情報共有と意見交換

3 ファミリーサポート事業(区委託事業)

(1) 会員数

(人)

	通常預かり		うち病児・病後児預かり	
	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
利用会員	2,452	2,633	1,188	1,252
提供会員	374	357	278	256
両方会員	9	11	4	4
合計	2,835	3,001	1,470	1,512

利用会員数は横ばいであるが提供会員数は講習会への参加者も増え、緩やかな増加傾向にある。利用会員からの活動依頼に対しても引き受けられないという事はほぼなくなり、提供会員を紹介でき活動につながっている。

(2) 相談・問合せ件数

(件)

依頼者及び依頼内容等		件 数	
		令和5年度	令和4年度
利用会員	新規依頼(病児・病後児預かり依頼除く)	247	294
	病児・病後児預かりコーディネーター	17	26
	その他	729	746
提供会員		381	324
未登録者(新規登録について・他団体からの問合せ等)		913	1,001
合計		2,287	2,391

## (3) 活動実績

活 動 の 範 囲	活動件数(件)		活動時間数(時間:h)	
	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
1 保育園・幼稚園の送り	1,414	1,733	1,489.0	1,891.0
2 保育園・幼稚園の迎え	1,180	1,245	1,303.0	1,354.0
3 保育園・幼稚園の登園前の預かり及び送り	664	543	1,009.0	932.0
4 保育園・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	871	1,106	1,862.0	2,270.5
5 保育園・幼稚園の帰宅後の預かり	475	366	1,296.0	789.5
6 放課後の預かり	601	735	1,569.5	1,725.0
7 学校から学童クラブへの送り	53	173	68.0	180.0
8 学校の迎え及び帰宅後の預かり	17	12	35.0	30.5
9 学童クラブの迎え	248	197	274.0	216.5
10 学童クラブの迎え及び帰宅後の預かり	94	267	226.0	643.0
11 学童クラブの帰宅後の預かり	0	20	0.0	40.5
12 学校の送り	272	210	301.5	223.5
13 学校の迎え	33	81	48.0	83.0
14 子どもの病気時の援助	27	10	82.0	37.0
15 保育園・学校等休み時の援助	1,003	1,035	3,245.5	3,476.5
16 保育園等施設入所前の援助	0	0	0.0	0.0
17 子どもの習い事・塾等の送迎	2,777	2,657	5,306.5	4,822.5
18 保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	137	242	416.0	791.5
19 保護者等の求職活動中の援助	0	4	0.0	11.5
20 冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	14	11	61.0	41.5
21 保護者等の買物等外出の場合の援助	374	637	1,181.5	1,886.0
22 保護者等の病気時の援助	11	63	19.0	117.5
23 その他	591	290	1,135.5	389.0
合 計	10,856	11,637	20,928.0	21,952.0

## (4) 利用会員登録説明会の開催

(人)

登 録		定期	窓口	訪問	子ども 家庭 支援セン ター	地域 子育て 支援 センター ふたば	四谷 保健 センター	土曜日	ゆった り～の	合計
新 規	令和5年度	233	34	3	23	4	6	120	7	430
	令和4年度	281	87	7	23	10	-	109	6	523
病児・ 病後児	令和5年度	123	2	0	9	2	2	86	3	227
	令和4年度	125	1	1	14	4	-	68	5	218

## (5) 提供会員講習会の開催

(人)

	申込者数		参加者数		修了者数	
	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
合 計	52	49	45	43	32	30

(参加者数・修了者数は補講者を含む)

## (6) 会員向け情報紙「えがお」の発行(年2回)

第64号 (6月30日発行) 第65号 (12月20日発行)	発行部数	5,000部 (令和5年度発行部数:5,000部)
	仕 様	A4判 4頁
	発行部数	利用会員、提供会員、福祉関係機関等

## 5 さまざまな団体との連携による地域ネットワークの発展

### 1 地域団体との連携（重点事業）

#### (1) 社会福祉法人としての公益的な取り組みの推進

##### ① 新宿区内社会福祉法人連絡会（社福連）の開催

社福連は、改正社会福祉法に基づき、「地域における公益的な取組を実施する責務」などに関し、区内社会福祉法人によるネットワークづくりをすすめ、法人間の連携と協働による公益的な取組をすすめることを目的としている。

令和5年度は、会員43法人等で連絡会を組織し、定例会のハイブリット形式による開催、メーリングリストを活用した交流・情報交換等をおして会員間の連携を図るとともに、三者連携（民生委員・児童委員、社会福祉法人、社会福祉協議会）の推進や社福連主催食品配付会などに取り組むほか、CSR活動企業との連携・協働へ向けた関係づくりをすすめた。

	実施日	内 容	参加者数
幹事会	6月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度事業報告</li> <li>・議決事項(令和4年度決算、令和5年度事業計画及び事業予算)の確認</li> <li>・情報交換</li> </ul>	7 団体 8 人
	9月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回オンラインサロン及び第1回食品配付会の実施報告</li> <li>・第2回オンラインサロン及び第2回食品配付会の実施等検討</li> <li>・情報交換</li> </ul>	7 団体 7 人
	2月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4・5年度社協部会について報告 ・第2回食品配付会報告</li> <li>・第2回オンラインサロン報告 ・第3回オンラインサロン実施</li> <li>・令和6年度社福連の取り組みの検討</li> <li>・令和6年能登半島地震「義援金」の募集についての検討</li> </ul>	7 団体 7 人
定例会	7月13日	<p>【議決事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度決算、令和5年度事業計画及び収支予算</li> <li>・幹事等の選任</li> </ul> <p>【報告事項および協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度事業報告 ・第1回食品配付会の実施</li> <li>・第1回オンラインサロンの実施</li> </ul> <p>【講話および意見交換】</p> <p>講話「地域公益活動とは ～どうする社会福祉法人、どうする社福連～」 講師：社会福祉法人二葉保育園 常務理事 武藤 素明氏</p>	23 団体 26 人 ※1団体から 重複出席有
	10月20日	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回オンラインサロン報告 ・第2回オンラインサロン実施</li> <li>・第1回食品配付会実施報告 ・第2回食品配付会協力</li> <li>・「ダイバーシティ・パーク2023 in新宿」への参加報告</li> </ul> <p>【実践報告】</p> <p>報告者：社会福祉法人サン 地域連携責任者 二瓶 裕二氏</p> <p>【情報交換】 テーマ①「地域との連携について」 テーマ②「福祉教育について」</p>	16 団体 20 人 ※1団体から 重複出席有
	3月14日	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度連絡会活動報告</li> <li>・令和4・5年度社協部会について報告 ・第2回食品配付会報告</li> <li>・第2回オンラインサロン報告 ・第3回オンラインサロン実施 他</li> </ul> <p>【実践報告】</p> <p>報告者：社会福祉法人南風会 シャロームみなみ風施設長 廣川 美也子氏</p> <p>【検討事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度社福連の取り組みについて 他</li> </ul> <p>【情報交換】</p>	19 団体 18 人 ※2団体を兼ね る出席者有

オンラインサロン	9月4日	①講話「首都直下地震に備える ～新宿区の被害想定と取組み等～」 講師:新宿区危機管理担当部 危機管理課 ②実践報告:2団体(新宿区障害者福祉協会、慈愛会) ③グループ交流	13 団体 29 人 ※経営層向け
	11月22日	①講話「福祉の仕事について～支援の心構え～」 講師①:社会福祉法人特別区社会福祉事業団 母子生活支援施設のぞみ荘 施設長 萩原 景節 氏 講師②:社会福祉法人若草福祉会 大久保わかか子ども園 園長兼理事長 福島 正晃 氏 ②グループ交流、情報交換	9 団体 25 人 ※入職後 3年以内
	2月26日	①講話「企業に訊く!デザインや商品開発のヒントについて」 講師:DIAM JAPAN株式会社 代表取締役 高橋 宏臣 氏 デザイン部 マネージャー 村井 常幸 氏 ②グループ交流、情報交換	9 団体 28 人 ※入職後 5年前後

②食品配付会～子育て応援!フードパントリー～の実施

物価高騰等の影響を受け、区内在住で食の支援が必要な子育て世帯(先着130世帯)へ食品を配付すると同時に、世帯の状況に応じた相談支援を実施した。

第1回

実施日	場 所	配 付 食 品	参加者
8月12日	社会福祉法人恩賜財団 東京都同胞援護会 原町高齢者複合施設	お米2kg、区内福祉作業所製造のクッキー 等、インスタント味噌汁、即席ラーメン など	52 世帯
	公益財団法人 日本キリスト教婦人矯風会 矯風会館		54 世帯
後日配付			22 世帯
合 計			128 世帯

第2回

実施日	場 所	配 付 食 品	参加者
12月9日	社会福祉法人園盛会 もみの樹園	お米2kg、区内福祉作業所製造のクッキー 等、インスタント味噌汁、即席ラーメン など	55 世帯
	社会福祉法人 新宿区社会福祉協議会		59 世帯
後日配付			8 世帯
合 計			122 世帯

主 催	新宿区内社会福祉法人連絡会、事務局 新宿区社会福祉協議会
協 力	新宿区民生委員・児童委員協議会、新宿区町会連合会、新宿CSRネットワーク、新宿区保護司会四谷分区
協 賛	新宿5ロータリークラブ (東京西北RC,東京新宿RC、東京四谷RC,東京新都心RC、東京ワセダRC)

多くの個人・団体から寄附金及び食品の寄附を受領した。

③その他

- ・『参加メンバーのための社福連携ガイド(旧ハンドブック)』の情報更新・配付を実施した。
- ・メールリストを活用し、団体間の交流と情報交換を随時行った。
- ・ダイバーシティ・パーク2023in新宿への参加  
9月30日・10月1日、障害者スポーツを通して他者理解を深めるイベントへ、新宿CSRネットワークとともに参加。
- ・第2回新宿アールブリュット企業展の実施協力  
12月20～22日、新宿CSRネットワークとの連携による福祉アート作品展を開催し、2月29日に表彰式を実施。
- ・東京都地域公益活動推進協議会 NEWS LETTER Vol.5(2024年4月)及びYoutubeチャンネルに掲載。

(2) 民生委員・児童委員協議会との連携

①各地区民生委員・児童委員協議会定例会への出席及び懇談会の開催

社協発足に深いかかわりを持ち、今日まで新宿区の地域福祉の向上に携わってきた民生委員・児童委員と社協職員との相互理解を一層深め、さらなる連携・協働をすすめていくため毎月定例会に職員が出席するとともに、希望があった各地区民生委員・児童委員協議会と懇談会を開催した。

地区	実施日	場所	内容
戸塚	7月20日	戸塚地域センター	「生活福祉資金と民生委員・児童委員活動」について(2)
榎町	8月16日	榎町地域センター	「災害時における社協の役割」について
落合第一	8月24日	落合第一地域センター	「成年後見制度」及び「成年後見制度の利用」について
角筈	2月26日	角筈地域センター	「新宿区社会福祉協議会の事業について」

②公私立保育園児への絵本の贈呈事業の支援

民生委員・児童委員協議会が行う公私立保育園・子ども園への絵本の贈呈事業に協力を行っている。

	令和5年度		令和4年度	
保育園・子ども園	83 園	393,441 円	81 園	377,726 円

(3) 町会・自治会等地域団体との連携

各地区町会連合会への社協事業説明等の実施

開催月	説明内容
4月	①令和5年度 新宿社協ガイド(70周年記念版)の配布について ②令和5年度 町会連合会 定例理事会・各地区定例会での新宿区社会福祉協議会からの事業説明について ③令和5年度 新宿区社会福祉協議会 会費のご協力をお願い
5月	①「地域見守り協力員事業」説明と連絡会のご案内 ②「新宿区ファミリー・サポート・センター」提供会員講習会のご案内 ③「生活支援体制整備事業」普及啓発資料のご案内
6月	①ふれあい・いきいきサロンの周知について ②新宿区成年後見センターだよりについて
7月	①令和5年度共同募金運動の実施及び使用資材について ②令和5年度第1回食品配付会(フードパントリー)の実施に伴うご協力をお願いについて
9月	①令和5年度赤い羽根共同募金運動実施に伴うご協力をお願いについて
10月	①地域支え合い普及啓発イベントの案内及び掲示板への周知依頼について ②受験生チャレンジ支援貸付事業の紹介と掲示板への掲示依頼について
11月	①令和5年度歳末・地域たすけあい運動募金への協力依頼及び資材送付について ②ちょこっと・暮らしのサポート事業について
12月	①成年後見制度について(成年後見センターだよりの配布)
2月	①令和6年度 地域ささえあい活動助成金について ②新宿ボランティア・市民活動センター事業案内パンフレットについて
3月	①赤い羽根/歳末・地域たすけあい運動募金お礼と報告について

※8月、1月は非開催

## (4) 出前講座の実施

	団 体 名	開催日	会 場	内 容	参加者
1	社会福祉法人 東京都手をつなぐ育成会 新宿区立高田馬場福祉作 業所	6月27日 7月28日	新宿リサイクル活動 センター	成年後見制度に ついて	42 人
2	株式会社 H&Hホールディングス 訪問看護ステーション デライト新宿	8月4日	訪問看護ステーション デライト新宿	成年後見制度に ついて、他	33 人
3	労働者共同組合ワーカーズ コープ・センター事業団 新宿生活さぼりとセンター	8月22日	新宿生活さぼりと センター	ボランティア・地域活動 について、他	6 人
4	柏木地区 民生委員・児童委員協議会	8月22日	柏木地域センター	成年後見制度に ついて	22 人
5	社会福祉法人 聖母会 聖母ホーム	8月23日	聖母ホーム	地域福祉権利擁護事 業について、他	4 人
6	公益財団法人 新宿区勤労者・仕事支援 センター	9月22日	新宿区勤労者・仕事 支援センター	新宿区社会福祉協議 会とは、他	12 人
7	戸塚地域福祉会議	11月8日	戸塚地域センター	新宿区社会福祉協議 会について、他	17 人
8	大久保高齢者総合相談セン ター	11月28日	大久保地域センター	地域福祉権利擁護事 業について、他	19 人
9	大久保地区学習会	2月9日	大久保地域センター	地域福祉権利擁護事 業について	23 人
10	法テラス東京	3月7日	日本司法書士センター 東京事務所	新宿区社会福祉協議 会について、他	13 人
11	社会福祉法人 新宿区障害者福祉協会 新宿区立障害者福祉セン ター	3月18日	新宿区立障害者福祉セ ンター	複合的な課題を抱える 方への相談支援事業 について、他	11 人
12	さつき会	3月19日	四谷保健センター	災害時のボランティア 活動について、他	39 人

上記以外に、各地区民生委員・児童委員協議会との懇談会を出前講座として実施

## (5) NPO・新宿CSRネットワーク等との市民活動の支援

## ①NPO等市民活動団体との協働支援

例年8月に実施されていた「京王プラザホテルボランティア・プラザ」は新型コロナウイルスの影響により令和2年度から非開催のため、区内福祉施設及び市民活動グループの紹介及び説明は出来なかった。

## ②新宿CSRネットワークの活動支援

	令和5年度	令和4年度
加盟企業	12 社	11 社
定例会	開 催 4 回(四半期に1度の開催)	
	内 容	新宿区内社会福祉法人連絡会加盟法人の施設等にて参集で実施。 社会貢献活動に関する情報交換および各企画の検討。
支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月30日 ごみゼロデーの参加。</li> <li>・7月、11月、1月 障害理解に向けた取り組みとして、新宿養護学校との交流を実施。</li> <li>・9月30日・10月1日 地域イベント等の情報提供と参加 (ダイバーシティパーク2023in新宿の参加協力)</li> <li>※8月の京王プラザホテル ボランティア・プラザの参加協力、同日の打ち水大作戦は実施せず。</li> </ul>	

※CSR・・・企業の社会的責任(Corporate Social Responsibility)の略称

③新宿CSRネットワークの取材協力等

	発行名	内容	発行及び取材者
1	東京都内区市町村社協NEWS 2023年度No.8 令和6年1月10日号	新宿CSRネットワークの取り組みと新宿区内社会福祉法人連絡会との協働について	東京都社会福祉協議会 地域福祉部
2	新宿ビズタウンニュース 第52号 (R6.3.25発行)	新宿CSRネットワークの取り組みと企業紹介	新宿区文化観光産業部 産業振興課

④福祉団体・施設等が行う行事等への支援 (件)

	令和5年度	令和4年度
行事等の後援・協力	28	32
行事等の共催	2	1
民間助成団体への推薦	10	17

2 生活支援体制整備事業 (区委託事業)

8 ページに記載

6 新宿社協の活動の理解促進のための広報・広聴機能の強化

1 総合的な広報事業 (重点事業)

(1) ボランティア情報の発信

① 地区情報紙の発行

平成31年4月から、ボランティア・市民活動情報紙「しずく」と各地区の地域情報を発信する「地区情報紙」を統合した。また、ボランティア募集情報は、ホームページに掲載し、ボランティアに関する様々な情報を発信している。

発行月	掲 載 内 容	発行部数
4月	笹筒・柏木地区の取り組み	各回2,500部
5月	榎町・落合第二地区の取り組み	
6月	【事業紹介】いつでも体験ボランティア	
7月	角管・若松町地区の取り組み	
8月	大久保・落合第一地区の取り組み	
9月	四谷・戸塚地区の取り組み	
10月	榎町・柏木地区の取り組み	
11月	笹筒町・落合第二地区の取り組み	
12月	若松町・落合第一地区の取り組み	
1月	戸塚・角管地区の取り組み	
2月	四谷・大久保地区の取り組み	
3月	令和5年度社協事業の取り組み、ボランティア保険の案内等	

配布先	ボランティア活動登録者、施設・団体、NPO、企業及び各種関係機関
掲載先	社協ホームページ、SNS (Facebook、X (旧Twitter))

② ホームページへの掲載 (回)

内 容	令和5年度	令和4年度
地区情報・事業周知等の記事掲載	119	144

※うち「ボランティアコーナーのコーナー」掲載数:24回

(2) 広報紙「けやき」等の発行

広報全体のテーマを、「知ってほしい」「参加してほしい」「親近感親しみを持ってほしい」とし、そのゴールを社協の支援者・賛同者(ファン)を増やす、そして「離さない」とした広報活動を行っている。

① 広報紙「けやき」の発行(年4回)

令和5年度は、特集は「子どもに関連した記事(子育て中の親、子育てが終わった親、祖父母などの読者をターゲット)」、連載は「社協の歴史×銭湯×地域の歴史」を掲載した。

5月号は特集ページで民生委員・児童委員協議会が編集した育児相談パンフレット「すくすく新宿っ子」を新生児のいる家庭に民生委員・児童委員が届けていることを掲載したことから、「すくすく新宿っ子」の配付と一緒に5月号も配付を行うことになったため、増刷した。

第184号 (5月20日発行)	発行部数	83,000 部 +2,500部(増刷分)
	仕 様	タブロイド判 4頁
	配布方法	新聞折込み(朝日・読売・毎日・日経・産経・東京) 76,000 部 関係機関等窓口での配布ほか 7,000 部
	主な内容	(特集)身近な場所で子育てを支える人たちについて紹介(連載:新宿区内のHOT(ほっと)する居場所) 万年湯(銭湯)の歴史×新宿社協の歴史、会費会員募集(払込取扱票)、講座・イベント案内、令和5年度事業計画・事業予算、読者参加コーナー、その他お知らせ
第185号 (8月20日発行)	発行部数	83,000 部
	仕 様	タブロイド判 4頁
	配布方法	新聞折込み(朝日・読売・毎日・日経・産経・東京) 76,000 部 関係機関等窓口での配布ほか 7,000 部
	主な内容	(特集)自分の時間を大切にしながらボランティア活動を行う人たちについて紹介、いつでも体験ボランティア、赤い羽根共同募金、(連載:新宿区内のHOT(ほっと)する居場所) 栄湯(銭湯)の歴史×新宿社協の歴史、講座・イベント案内、読者参加コーナー、令和4年度事業報告・決算報告、その他お知らせ
第186号 (11月20日発行)	発行部数	83,000 部
	仕 様	タブロイド判 4頁
	配布方法	新聞折込み(朝日・読売・毎日・日経・産経・東京) 76,000 部 関係機関等窓口での配布ほか 7,000 部
	主な内容	(特集)自分らしく過ごせる居場所を紹介、ふれあい・いきいきサロン、(新宿区内のHOT(ほっと)する居場所) 世界湯、受験生チャレンジ貸付事業、食品配付会報告、歳末・地域たすけあい運動募金、講座・イベント案内、読者参加コーナー、その他お知らせ
第187号 (2月20日発行)	発行部数	83,000 部
	仕 様	タブロイド判 4頁
	配布方法	新聞折込み(朝日・読売・毎日・日経・産経・東京) 75,000 部 関係機関等窓口での配布ほか 8,000 部
	主な内容	(特集)誰もが住みやすいまちづくりを目指し未来に向かう取り組みの紹介、いつでも体験ボランティア、福祉教育・福祉体験学習、体験ワークショップ、(連載:新宿区内のHOT(ほっと)する居場所) 第三玉の湯、新宿区内の企業が行う福祉活動(新宿CSRネットワーク)、食品配付会報告、共同募金報告、講座・説明会案内、読者参加コーナー、その他お知らせ

② 事業案内パンフレット「新宿社協ガイド」の発行

発行部数	10,000 部
仕 様	A4判 16頁 70周年記念版として70年の年表など掲載
配布方法	民生委員・児童委員協議会、町会・自治会、関係機関・団体など

(3) ホームページ、SNSの活用

① 新着情報等の更新回数及び閲覧件数

		令和5年度	令和4年度	
新着情報等 更新回数	ホームページ	184 回	155 回	
	SNS※	Facebook	165 回	145 回
		X(旧Twitter)	204 回	158 回
閲覧件数	ホームページ	166,125 件	191,557 件	
	SNS※	Facebook	13,189 件	12,022 件
		X(旧Twitter)	63,019 件	67,719 件

この他、LINEの配信を行っている。

② ホームページ バナー広告の掲載

ホームページ上に企業・団体等の広告を掲載し、その掲載手数料を当会の地域福祉活動に活用する。

	掲載件数	掲載団体等
令和5年度	2 件	イメージコンサルティングサロン、終活と相続相談の総合窓口
令和4年度	2 件	ブランド品買取サービス、イメージコンサルティングサロン

(4) 創立70周年の取り組み

団体創立70周年を迎える年に、感謝を伝え、社協について知ってもらい、身近に感じてもらうため、社協ガイド記念版の作成、ホームページ特設ページの開設、記念ロゴ作成、記念ロゴを使用したプレートを作成し掲示、SNSでのカウントダウンや職員リレートークに取り組んだ。

## 2 広聴事業(重点事業)

(1) 情報公開・個人情報保護審査会

① 情報公開・個人情報保護審査会委員連絡会の開催

※ 審査会に至る案件が無い場合、審査会委員との会合を年1回実施し、情報共有を行っている。

第1回 令和5年8月16日 出席者数 委員 5人(来所3人、WEB2人)

- 議題
- ・情報公開・個人情報保護制度と審査会の役割について
  - ・保有個人情報の開示等の請求・協議会文書の公開請求事案について
  - ・個人情報保護関係規程の改正について

(2) 第三者委員会の設置

① 第三者委員による会議の開催

第1回 令和5年8月16日 出席者数 委員 3人(来所2人、WEB1人)

- 議題
- ・新宿区社会福祉協議会の苦情解決体制と第三者委員の役割
  - ・社協における事例の紹介

## 7 地域福祉推進のための財源基盤の拡充

### 1 会費会員の拡充(重点事業)

	令和5年度		令和4年度	
	件数	金額	件数	金額
個人会員	1,538 件	2,466,000 円	1,651 件	2,513,000 円
団体会員	411 件	2,193,000 円	419 件	2,224,000 円
合計	1,949 件	4,659,000 円	2,070 件	4,737,000 円

民生委員・児童委員への会費集金依頼を7月に行い、従来の会員宅訪問を中心に納付を依頼した。また、事務局扱いの会員への会費納付の依頼について、今年度も上半期に繰り上げて実施した。

## 2 共同募金の普及・啓発(募金文化の醸成) (重点事業)

### (1) 東京都共同募金会新宿地区協力会理事会

第1回理事会 令和5年8月1日 出席者数 理事 14人(来所 11人、WEB 3人)  
監事 1人(WEB)

議決事項 議案第1号 共同募金会新宿地区協力会規程の一部改正について  
議案第2号 令和5年度東京都共同募金会新宿地区協力会共同募金(赤い羽根共同募金及び歳末・地域たすけあい運動募金)実施要綱について

報告事項 報告事項1 令和4年度共同募金地域福祉活動費の使途報告について(歳末・地域たすけあい運動募金)  
報告事項2 令和4年度赤い羽根共同募金 地域配分(B配分)の一部辞退について  
報告事項3 1 令和5年度地域ささえあい活動助成事業の実績について  
2 令和5年度ふれあい・いきいきサロン新型コロナウイルス感染症対応のための活動助成の実績について  
報告事項4 令和4年度赤い羽根共同募金 A配分(全都配分)整備費・特別事業費への団体推せん結果について

第2回理事会 令和6年1月26日 出席者数 理事 12人(来所10人、WEB 2人)  
監事 1人(来所)

報告事項 報告事項1 令和5年度赤い羽根共同募金運動及び歳末・地域たすけあい運動募金の実績報告について  
報告事項2 令和5年度地域ささえあい活動助成事業の実績報告について  
報告事項3 赤い羽根共同募金A配分(全都配分)整備費・特別事業費への団体推せんについて

議決事項 議案第3号 令和5年度東京都共同募金会赤い羽根共同募金地域配分(B配分)の推せんについて  
議案第4号 令和5年度地域福祉活動事業の再配分について  
議案第5号 令和6年度赤い羽根共同募金運動及び歳末・地域たすけあい運動募金の収支計画について  
議案第6号 令和6年度地域福祉活動事業の配分計画について

### (2) 赤い羽根共同募金運動

・募金期間 令和5年10月1日～12月31日

・募金方法 区を通じ、町会・自治会へ協力を依頼した。新型コロナの感染症法上の位置づけが「5類感染症」に移行されたことに伴い、街頭募金を高田馬場駅周辺、四谷三丁目駅周辺で行ったほか、特別出張所窓口や関係施設・団体への協力を依頼した。

・募金総額 (円)

令和5年度	令和4年度
2,698,890	3,013,024

・街頭募金

	実施日	場所	参加者	募金額
新宿社協	10月2日 2回	高田馬場駅周辺	社協職員16名 戸塚地区 民生委員8名	30,848 円
	10月2日 1回	四谷三丁目駅周辺	社協職員4名 四谷地区 民生委員7名	15,836 円

(3) 歳末・地域たすけあい運動募金

募金は、歳末・新年を迎える区内の在宅重度障害児者等に見舞品として贈呈した。

- ・募金期間 令和5年12月1日～12月31日
- ・募金方法 区を通じ、町会・自治会へ協力を依頼した。新型コロナの感染症法上の位置づけが「5類感染症」に移行されたことに伴い、街頭募金を高田馬場駅周辺、四谷三丁目駅周辺で行ったほか、特別出張所窓口や関係施設・団体への協力を依頼した。

・募金総額及び内訳

(円)

	収 支 項 目	金 額	
		令和5年度	令和4年度
収 入	募金額	6,898,006	8,081,144
	預金利子	12	13
	前年度繰越金	0	0
	収 入 合 計	6,898,018	8,081,157
支 出	援護費	2,205,000	2,185,004
	見舞品(クオカード)	1,985,000	2,060,000
	交通遺児	0	0
	自死遺児	0	0
	在宅重度障害児者	1,830,000	1,845,000
	女性保護施設入所者	115,000	140,000
	母子生活支援施設退所者	55,000	50,000
	児童養護施設退所者	20,000	25,000
	令和4年度繰越分充当	-35,000	
	見舞品(パジャマ)	220,000	125,004
	乳児院児童	220,000	125,004
	事務費	552,560	443,021
	地域福祉活動費	4,140,458	5,453,132
	支 出 合 計	6,898,018	8,081,157

・街頭募金

	実 施 日	場 所	参 加 者	募 金 額
新宿社協	12月1日 2回	高田馬場駅周辺	社協職員15名 戸塚地区 民生委員8名	30,027 円
	12月1日 1回	四谷三丁目駅周辺	社協職員4名 四谷地区 民生委員7名	37,519 円
下落合東町会	12月16～19日 各日2回	ピーコックストア 目白店前歩道	町会会員 延30人	- 円 ※

※下落合東町会の募金額は来年度へ繰り越し。

3 寄附の募集(重点事業)

(1) 寄附金

広報活動との連携により、寄附金への理解をすすめた。

	令和5年度		令和4年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額
一般寄附金	353 件	5,985,564 円	382 件	5,685,231 円
指定寄附金	25 件	5,948,723 円	29 件	5,980,612 円
合 計	378 件	11,934,287 円	410 件	11,665,843 円

※令和4年度・令和5年度ともに、一般寄附金と指定寄附金の重複1件あり

(2) 寄附物品の受領・譲渡

(件)

	令和5年度	令和4年度
物品受領件数	211	154
地域団体・施設等への譲渡件数	199	154

※ 食品配付会の他、生活困窮世帯等への支援として、お米など多くの食品等を地域住民や企業・団体から受領した。

#### 4 収益事業(自販機の設置等)(重点事業)

飲料自動販売機を設置し、売り上げの一部を赤い羽根共同募金へ寄附し、残りを地域福祉事業に活用する。設置先の拡充のため、各関係機関、民間事業所などへの呼びかけを行っている。

- ・設置場所 社協高田馬場事務所 1台、東分室 2台、新宿中央公園 1台、正覚寺(四谷地区) 1台、新宿清掃事務所 1台、牛込保健センター仮施設 1台、岡芳本店ビル前 1台(榎町地区)、レオパレスMIWA前 1台(榎町地区)  
 ※ソナーレ目白御留山(有料老人ホーム、落合第一地区)は10月に故障により撤去

・手数料収入額

令和5年度	令和4年度
652,965 円 / 9 台	568,304 円 / 10 台

## 8 新宿社協の組織運営と組織基盤の整備

### 1 新宿社協の組織運営

(1)理事会・評議員会・推進部会の運営

①役員会

(ア)会長・副会長会

計3回(5月16日、11月14日、2月28日)の開催

理事会・評議員会開催前に実施し、予定議案について協議を行った。

(イ)監事監査

第1回 令和5年5月12日

令和4年度に係る事業報告等、計算関係書類及び財産目録についての監査

第2回 令和5年11月8日

令和5年度上半期事業報告及び各事業及び各拠点区分資金収支決算、貸借対照表等についての監査

(ウ)理事会

第1回 令和5年5月26日 出席者数 理事 16 人 (来所 13人、WEB 3人)

監事 2 人 (来所 2人、WEB 0人)

決議事項 議案第 1 号 令和4年度事業報告及び決算報告の承認について  
 議案第 2 号 役員等賠償責任保険契約について  
 議案第 3 号 評議員選任委員の選任について  
 議案第 4 号 理事及び監事候補者の推薦について  
 議案第 5 号 令和5年度第1回評議員会の招集について

第2回 令和5年6月13日 出席者数 理事 13 人 (来所 10人、WEB 3人)

議案第 6 号 会長、副会長及び常務理事の選定について

議案第 7 号 評議員候補者の推薦について

第3回 令和5年12月5日 出席者数 理事 14 人 (来所 11人 WEB 3人)

監事 3 人 (来所 2人 WEB 1人)

決議事項 議案第 8 号 令和5年度第2回評議員会の招集について

第4回 令和6年3月12日 出席者数 理事 16 人 (来所 12人 WEB 4人)

監事 3 人 (来所 2人 WEB 1人)

決議事項 議案第 9 号 令和5年度地域福祉推進事業資金収支補正予算(補正第1号)について  
 議案第10号 令和6年度事業計画及び資金収支予算について  
 議案第11号 社会福祉法人新宿区社会福祉協議会経理規程の一部改正について  
 議案第12号 第5次経営計画の策定について  
 議案第13号 令和5年度第3回評議員会の招集について

## ②評議員会

第1回 令和5年6月13日 出席者数 評議員 14人(来所7人、WEB7人)  
監事 1人(来所)  
常務理事 1人(来所)

決議事項 議案第1号 令和4年度事業報告及び決算報告の承認について  
議案第2号 理事及び監事の選任について

第2回 令和5年12月19日 出席者数 評議員 16人(来所9人 WEB7人)  
常務理事 1人(来所1人)  
監事 1人(来所1人)

決議事項 なし  
※事業実施状況等の報告を行った。

第3回 令和6年3月28日 出席者数 評議員 16人(来所8人 WEB8人)  
常務理事 1人(来所1人)

決議事項 議案第3号 令和5年度地域福祉推進事業資金収支補正予算(補正第1号)について  
議案第4号 令和6年度事業計画及び資金収支予算について

## ③評議員選任委員会

第1回 令和5年6月29日 出席者数 委員 5人(来所) 常務理事 1人(来所)

決議事項 議案第1号 評議員選任委員会委員長の選出について  
議案第2号 評議員の選任について

## ④推進部会

新宿社協理事、障害福祉分野、生活福祉分野、企業・社会貢献分野、学識経験者等9人と、各地区の社協部会9人の計18人の委員で構成し、協議を行った。

第1回 令和5年4月21日 出席者数 18人(来所14人、WEB4人)

内容 ・委員自己紹介  
・第5次経営計画策定に向けた検討について(委員全体で意見交換)

第2回 令和5年6月16日 出席者数 15人(来所11人、WEB4人)

内容 ・第4次経営計画に基づく令和4年度の主な取組みについて(報告)  
・第5次経営計画策定に向けた検討について(グループワークによる意見交換)

第3回 令和5年11月10日 出席者数 13人(来所11人、WEB2人)

内容 ・令和5年度上半期事業報告について  
・第5次経営計画策定に向けた検討について(委員全体で意見交換)

第4回 令和6年1月12日 出席者数 13人(来所11人、WEB2人)

内容 ・第5次経営計画(案)の確定に向けた検討について(委員全体で意見交換)

第5回 令和6年3月1日 出席者数 13人(来所13人、WEB2人)

内容 ・第5次経営計画(案)の報告について(委員全体で意見交換)

(2) 社協部会の運営

民生委員・児童委員協議会、町会・自治会関係者、高齢者総合相談センター、学校関係者(スクールコーディネーター)、地域活動者、地域福祉関係NPO、施設・団体等から選出の委員84名で、特別出張所地区ごと9地区で社協部会を運営した。(各地区委員は9人、柏木・角筈地区は合同のため委員12人)

令和4・5年度の検討テーマは「地域共生社会を目指して、地域住民と専門職の協働による支援とは」で、各地区の社協部会で検討をすすめた。

【第1回】

地区	実 施 日						参加者数
東	四谷	5月17日	箆笥町	5月25日	榎町	5月10日	25人
中央	若松町	5月19日	大久保	5月23日	戸塚	5月15日	25人
西	落合第一	5月24日	落合第二	5月17日	柏木・角筈	5月30日	28人

【第2回】

地区	実 施 日						参加者数
東	四谷	8月23日	箆笥町	8月24日	榎町	8月22日	25人
中央	若松町	8月24日	大久保	8月10日	戸塚	8月29日	20人
西	落合第一	8月21日	落合第二	8月30日	柏木・角筈	8月8日	25人

【第3回】

地区	実 施 日						参加者数
東	四谷	11月8日	箆笥町	11月16日	榎町	11月29日	25人
中央	若松町	11月17日	大久保	11月28日	戸塚	11月13日	23人
西	落合第一	11月21日	落合第二	11月16日	柏木・角筈	11月14日	27人

【第4回】 令和4・5年度社協部会全体会(実施日:2月14日 会場:牛込箆笥区民ホール)

地区	内 容	参加者数
東	各地区社協部会からの提言及び令和6年度以降の新宿社協の取り組みについて報告し、グループごとの情報交換会を実施した。	22人
中央		25人
西		24人

## 2 職員の育成

(1) 職員等の資質向上に向けての研修の実施

(回数、人数は延数)

### ① 職層別研修(外部研修)

	令和5年度		令和4年度	
	参加者数	27人	参加者数	28人
中堅職員研修(職歴2年以上)	4回	8人	4回	6人
新任職員研修	2回	8人	4回	12人
その他(役職員研究協議会ほか)	1回	11人	1回	10人

### ② 専門・業務研修(外部研修)

	令和5年度		令和4年度	
	参加者数	104人	参加者数	125人
地域活動支援	4回	6人	4回	5人
成年後見・地域福祉権利擁護	11回	15人	15回	31人
自立相談支援・貸付	9回	15人	6回	9人
ファミリーサポート	1回	1人	7回	11人
法人経営	13回	27人	11回	20人
精神保健福祉	9回	17人	9回	28人
その他(救命*、認知症サポーター養成等)	3回	23人	6回	21人

\*内部研修含む

### ③ 内部研修

	令和5年度		令和4年度	
	参加者数	407人	参加者数	494人
新任研修	5回	29人	4回	31人
集合研修	16回	378人	8回	463人

上記の内部研修のほか、昇任選考対象者の研修、新任職員と局長・次長との懇談会及び各課内の研修を実施した。また、事業の歴史を伝える研修を定期的に行い、第5次経営計画策定に関する研修も開催した。

### ④ 資格取得支援

(人)

	令和5年度		令和4年度	
	受験者数	資格取得者数	受験者数	資格取得者数
衛生管理者	0	0	0	0
ITパスポート	0	0	2	0
情報セキュリティマネジメント	0	0	1	0

(2) 「社会福祉士」の国家試験受験資格取得のための現場実習生受入れ

・社会福祉実習 1人 12日間

## 3 IT推進・情報管理

(1) IT運用・管理及び情報セキュリティ

① 組織内IT推進体制を整備し、適正な管理運用を行った。

- ・IT推進会議(各課IT担当)によるシステム・インフラ等の運用・管理・利用サポート・各種調整等
- ・ITコンサルタント及びインフラ委託業者の助言による、情報セキュリティ対策
- ・遠隔地でのデータバックアップの実施(月1回)
- ・管理及び情報セキュリティの運用等強化(ITパスポート有資格者:9人)
- ・IT担当職員対象研修:1回

② ITコンサルタントの支援により、安全な運用及びIT人材の育成を行った。

- ・コンサルタント委託先:株式会社ループス・ネット
- ・指導(WEB9回)、IT担当者の管理運用等に関する相談への助言・情報提供(随時)
- ・職員のITリテラシー及びセキュリティ意識向上への支援(新任研修:8回/eラーニング:1回)
- ・機器やシステムの導入・管理・運用、情報セキュリティ強化等への助言

- ③災害等への対応・検討を行った。
  - ・遠隔地でのデータバックアップの実施(月1回)
  - ・ITBCPの更新

(2)IT機器・ネットワークの活用

ITシステム・組織内イントラネット・ネットワークの活用により、情報管理・共有及び事務効率化を図った。  
 【システム】会員総合情報システム、ファイルサーバ、グループウェア、財務・給与・人事管理・勤怠管理 他  
 【インフラ】クライアントPC77台、財務等PC3台、サーバー 他  
 【その他】ソフト(ウィルス対策ソフト、データバックアップソフト)、回線・プロバイダ・ネットワークの機器等の変更 他

4 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、以下の対策を行った。

(1) 事務室及び会議室の感染防止対策

5月8日、新型コロナの感染症法上の位置づけが「5類感染症」に移行されたことに伴い、来所者(相談者等)のマスク着用は主体的な選択を尊重し、会議・講座等で会議室を使用時における定員の制限を緩和した。また、扇風機・サーキュレーターの使用と窓の開放を行う等の換気、手指消毒、館内の定期的な消毒、対面時の職員のマスク着用及び飛沫防止アクリル板設置など、基本的な感染対策については継続した。

(2)職員の感染防止対策

出勤日の検温及び出勤時の手洗い・手指消毒を徹底し、執務時間中のマスク着用を継続して行った。

9 災害対策の推進

1 災害時危機管理対策

- (1)大規模災害時に備え、システムデータの遠隔地バックアップを毎月実施した。  
( 8-3 IT推進・情報管理(1)③の再掲 )

(2) 訓練の実施及び防災意識の向上 (回)

令和5年度		令和4年度	
実施内容	実施回数	実施内容	実施回数
消防訓練(消防計画理解のための動画視聴)	1	消防訓練(消防計画理解のための動画視聴)	1
消防設備・避難経路確認訓練	1	消防設備・避難経路確認訓練	1
全職員を対象とした参集状況調査	0	全職員を対象とした参集状況調査	1
ITBCPの見直し	1	ITBCPの見直し	1

※ 火災発災時の初動を学ぶ消防動画を職員が視聴し、その後、参加型消防訓練として、高田馬場事務所内で火災が発生した際の火災確認、通報、初期消火、避難誘導等の消火初動を確認・実行する模擬訓練を行った。

2 災害ボランティアセンターの運営支援等

(1)「新宿区災害ボランティア養成講座」の実施

開催日時	内 容	講 師	参加者数
5月20日 10時30分 ～12時	災害支援の現状と災害ボランティアの基本について学ぶ 「災害ボランティア講座」 ①被災者の困りごと 災害ボランティアセンターの役割と仕組み ボランティア活動について ②ワークショップ クロスロード 災害ボランティア編 ③新宿区の危機管理体制と被害想定等	①②一般社団法人 ピースボート災害 支援センター 遠藤 聡氏 関根 正孝氏  ③戸塚特別出張所長	来所 18 人
開催方法	参集形式		

## (2)地域での防災講座等への協力

実施日	内 容	参 加 者 数
8月16日 15時～16時	榎町地区民生委員・児童委員協議会 懇談会 災害時における社協の役割について ～復旧・復興期～	32名 (うち新宿社協4名)
8月22日 13時30分 ～17時30分	東長寺こども防災まちあるき ※小学生を対象に、東長寺周辺の防災に関する 施設や設備を探すフィールドワークに参加協力 し、災害ボランティア活動を周知した。	14名 (小学生7名、東社協1名、新宿社協 2名、関係団体4名)
11月5日 13時～16時	神楽坂防災ふれあいひろば ※ブース内で共同募金活動を実施。募金いただ いた方にチラシを用いて災害ボランティア活動を 周知した。	4名 (周知件数 127件)

(3)「新宿区災害ボランティア登録者 情報交換会」の実施  
実施せず

## (4)新宿区災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施

実施日	内 容	参 加 者 数
12月15日 17時30分～ 19時30分	ピースボート災害支援センター遠藤 聡氏を講師に迎 え「ニーズを聞き取る技術と災害時の被災者への寄り 添い方を学ぶ」をテーマに、座学形式の訓練を実施し た。	49名 (新宿区12名、新宿社協37名)

## (5)新宿区災害ボランティアセンター関係者団体意見交換会の実施

実施日	内 容	参 加 者 数
2月21日 10時00分～ 11時30分	通訳ボランティア(専門ボランティア)と一般ボランティ アのコーディネート方法と役割分担について意見交換 を実施した。	6名 (新宿区3名、新宿社協3名)

※ 各年度の実績は、いずれも3月末日現在のものです。

※ 本会では、事業報告の附属明細書を作成しておりません。